令和 6 年度 () 第 X-01 号

各中学校生徒用トイレ及び多目的トイレ整備工事

- 名張中学校生徒用トイレ等整備工事
- ・赤目中学校生徒用トイレ等整備工事
- 桔梗が丘中学校生徒用トイレ等整備工事

発注者: 名張市 総務部 公共施設マネジメント室

設 計:白鳳アーキテック株式会社

名張中学校生徒用トイレ等整備工事

	図 面 リ ス ト												
No.	図 面 名 称	No.	図 面 名 称	No.	図 面 名 称	No.	図 面 名 称						
A - 0 0	表紙・図面リスト	A - 1 1	普通•特別教室棟 2階多目的便所詳細図	E-01	特記仕様書	M – 0 1	特記仕様書						
A — 0 1	改修工事特記仕様書一 1	A - 1 2	特別 · 普通教室棟 便所 A 平面図	E-02	1 階全体平面図	M - 0 2	衛生器具表						
A - 0 2	改修工事特記仕様書一 2	A - 1 3	特別 · 普通教室棟 便所 B 平面図	E-03	2 · 3 階全体平面図	M - 0 3	普通·特別教室棟 2階多目的便所詳細図						
A - 0 3	改修工事特記仕様書一3	A — 1 4	普通 · 特別教室棟 便所 C 平面図	E-04	特別・普通教室棟 便所 A 1 ・ 2 階平面図 コンセント設備	M - 0 4	特別·普通教室棟 便所 A 平面図						
A - 0 4	改修工事特記仕様書一 4	A - 1 5	建具表	E-05	特別・普通教室棟 便所 A 3 階平面図 コンセント設備	M - 0 5	特別·普通教室棟 便所B平面図						
A — 0 5	特記仕様書一 5	A - 1 6	改修建具表	E-06	特別・普通教室棟 便所 B 1・2 階平面図 コンセント設備	M - 0 6	普通·特別教室棟 便所 C 平面図						
A - 0 6	位置図	A - 1 7	部分詳細図	E-07	特別・普通教室棟 便所B 3階平面図 コンセント設備								
A — 0 7	配置図	A - 1 8	便所天井伏図(1)	E-08	普通・特別教室棟 便所 C・多目的便所 2 階平面図 コンセント設備								
A - 0 8	世上表 仕上表	A - 1 9	便所天井伏図(2)										
A - 0 9	1 階全体平面図兼仮設計画図												
A — 1 0	2 · 3 階全体平面図兼仮設計画図												

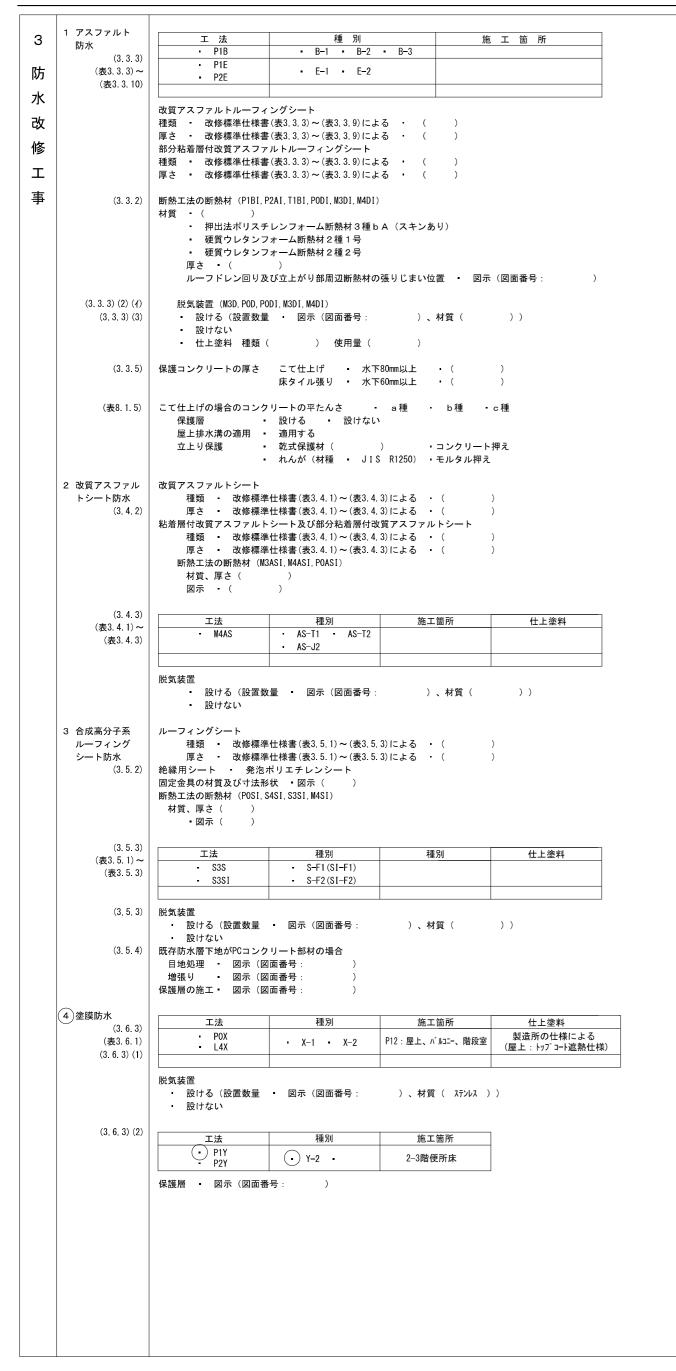


特記	工事名	1 1 1 7 7 7 7 1 1 1 1	ッ等整備工事		HAKUHO	1 級建築士事務所 登録 (三重 1 - 1 9 8 7 号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	田 西 安 1	管理建築士 印
	図名	表紙・図面リスト	縮尺	図面番号	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	中尾井	萱室 敦司
			_	A - 0 0	日風アーキアック 森式会社	E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	図面提出日 2024/03/22	

	改修工事特記仕様書	(12)建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質
	名張中学校生徒用トイレ等整備工事		性性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)(以下「評価名簿」という。)と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
Ⅱ. 工事概要 1 工事場所	三重県名張市丸之内 地内		2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「
2 敷地面積 3 工事内容	— m2		木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。 4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」
構造	中学校 鉄筋コンクリート造 地上3階、地上2階		やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
建築面積延べ面積	— m2 — m2		6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
工事項目	便所改修工事		(認定製品の品名: 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 お守製品の日名: 関係対象工事用が以た。 関係対策 まの最終対策 また 関係対策 また こ
Ⅲ. 建築改修工事仕様 1 共通仕様 図売みび性記せ	桜書に記載されていかいま活は、「二番目ハサマまサダル桜書・△エハ「ケフロルリウルロ・・エッタ゚「ハヰユホタサユーレサーマーサニッサノレサーサー゙クサイサー		認定製品の品名: 間伐材製工事用バリケード 間伐材工事用看板 間伐材標示板 ()
	様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和5年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工 (以下「改修標準仕様書」という。)」による。	13 化学物質の濃 度測定	測定対象化学物質 (●で示したものとする。)
(1) 項目は、番号(に〇印の付いたものを適用する。 〇印の付いたものを適用する。	(1. 6. 9)	 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジクロインゼン サ ● ● ●
	の()) 内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。		住宅 ● ● ● その他 ● ● ●
章 項目	特 記 事 項		測定対象室及び測定個所数 - 図示(図面番号:) - (空き部屋にて実施 P1-201) 測定方法(・ パッシブ法 ・ アクティブ法)
1 適用基準等	1)公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和最新年版)		測定時期 • (工事完了後) 報告書提出部数 2部
<u></u>	2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和最新年版)	(14)特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
般 共 (1.3.5)	"- ""	(15)騒音・振動の	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
通	- 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 - 指定なし - 時 ~ 時	防止	
事	概成工期 指定なし 年 月 日 工事着手は住民説明会(受注者も出席のこと)開催後とする。	(1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部(平成31年版))に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(平成29年3月1日 付け国営整第211号)」による。
項 3 部分引渡し、 部分使用	- 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分() ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	17)完成図等	作成する (・ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ())
л Ш ┷үү. СС	時期(平成年月日~)	(1.8.2)	完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる 使用権は発注者に移譲するものとする。
4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり	18 完成写真	使用権は発注者に移譲するものとする。 デジタルカメラで撮影し、全てし版相当サイズで印刷する。(A 4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
(5)発生材の処理等	・ 発見された場合、光磁調査等の美施あり ・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に	10 元成分泉	デンダルカメラで撮影し、主てし版相当りイスで印刷する。 (A4版用版に「ベーンのにする枚) 「部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・ アルバム (大きさ335mm×290mm程度、カラー) 1部
(1. 3. 12)		19 電子納品	工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。
	て適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。		(提出部数 • 3部 • 部) 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。
	分別解体等の方法 工程 作業の有無 分別解体等の方法		(提出部数 · 3部 · 部) 施工範囲
		(20)設備工事との	・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
	基礎・基礎ぐい ・ 有 ・ 無 ・ 手作業 ・ ・ 手作業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	取合い	図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 野野社芸学学芸芸 「大き」 「おき」 「まま」 「まま」
	上部構造部分・外装 ・ 有 ・ 無 ・ 手作業 ・ 手作業 ・ 手作業 ・ 手作業 ・ 機械作業の併用		・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ 施工図 ・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
	屋根 ・ 有 ・ 無 ・ 手作業 ・ 手作業 ・ 手作業 ・ 横械作業の併用	(21)既存部分等へ	・) 設備機器の位直、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補
	建築設備・内装等 ・ 有 ・ 無 ・ 手作業	の処置 (1.3.13)	工事ル上に味む、以行即力を力限した物目入は損傷した物目は、血自吸臭に報合することもに外的を支げて状状に早むて間修する。
	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②②事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督
	・ 引き渡しを要するもの ・ 有() ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有() 処理方法()		員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
	現場において再利用を図るもの (②3 市内企業 優先使用	本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方(2次以下の請負人を含む)を市内に本店(建設業法において、14ウェストなる分表にあるよりを方式を表現した。選やするトラに努めること。また、工事場所も所管する建設事務所管内
	・	医元医用	て規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内 又は隣接する建設事務所管内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者を優先して選定するよう努 めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
6 建設副産物情報 交換システムの			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
利用	エ事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、 エ事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。	24 総合評価方式	本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。) で、貴社の評価点において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。
7 三重県産業廃棄			暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について
物税	から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。	(25) 不当介入を受けた場合の措置	1) 受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必
	なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。		要な協力を行うこと。 2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
8 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する		と。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
9技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。	26 消防法関係の 手続き	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事(・・建築工事・・電気設備工事・・機械設備工事)・・別途工事
10 施工数量調査	調査範囲及び調査方法・工種別の特記による		2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。
(1.5.2)	補修方法 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	(27)主任技術者又 は監理技術者	1) 技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
破壊部分の補修 (1.5.3)		10年以間日	エ事状場に配置する主任技術者又は無理技術者は、本工事の人れる者でためる技術者安下を過たす者としなければならない。(1) 現場施工に着手するまでの期間
			請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日につい
			ては、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 (2) 検査終了後の期間
			検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が
			工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
特記		工事名	名張中学校生徒用トイレ等整備工事

	(28) 労働安全衛生 法に基づく労 働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の 規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得ら れたものとみなす。
2	1 騒音・粉じん等 の対策 (2.1.3)	防音パネル 設置範囲 ・ 図示(図面番号:) 防音シート 設置範囲 ・ 図示(図面番号:)
設工	2 足場 (2.2.1)	足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙 1 「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2) 手すり据置き方式又は(3) 手すり先行専用足場方式により行うこと。外部足場 ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない防護シート ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない内部足場 ・ 設置する(・ 脚立) ・ 設置しない
事	(表2.2.1)	材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種:利用可能なエレベーター () D種:利用可能な階段 ()
	3 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ・ 図示(図面番号:) 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法 (取外し・復旧) 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ () 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない
	4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 下地:LGS 合板 厚さ ・ 9mm ・ () せっこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ () 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 設置箇所 ・ 図示(図面番号:)
	5 監督員事務所 (2.4.1)	仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ () ・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する 監督員事務所の規模(単位:m) 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 監督員事務所の仕上げ 部位等 仕上げ 床 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
	6 監督員事務所の 設備、備品等 (2.4.1)(2)(7)	種類 机・いす 書棚 黒板・白板 掛時計 温度計 数量 組 台 個 個 種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 台 種類 消火器 掃除具 受注者加入電話 FAX 冷暖房機器 インターネット 数量 個 台 台
	7 仮設便所	構内既存の施設 ・ 利用できる ・ 利用できない 構内既存の施設
	9 工事用電力	(・) 利用できる ((・) 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 横内既存の施設 ・ 利用できる (・) 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 本工事できる (・) 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 本工事にお及ってまた。
	10 交通誘導警備員	に含まれる。 配置 ・ 図示(図面番号: A-07)

特記	工事名	名張中学校生徒用トイレ	, 笙 敕 冼 丁 恵		HAKUHO	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承 認	管理建築士	印
		石張中子校工促用ドイレ	/ 守 罡 哺 工 尹			〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	田田田安	145 2566205	
	図名	3. 放工事性部件学 1	縮尺	図面番号	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	中星井	英安 動司	
		改修工事特記仕様書 1	N S	A - 0 1	白鳳アーキテック 株式会社	E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	図面提出日 2024/03/22	- 萱室 敦司	



```
5 既存防水層表面 (M4AS,M4ASI,M4C,M4DI) - 行う - 行わない
    の仕上塗装の除
                         行う ・ 行わない
     (3. 2. 6) (3) (1)
     (3.2.6)(3)(力)
  (6)シーリング
             材料
        (3.7.2)
                                               施工箇所
                • SR-1
• MS-2
                           シリコーン系 ガラス
                           変成シリコーン系 面台廻り
                         ポリサルファイド系 打継ぎ目地、誘発目地
                          ポリウレタン系 外壁
               ※ワーキングジョイントは2面接着、ノンワーキングジョイントは3面接着を原則とする。
               ※外壁以外の目地で、浴室、流し台、洗面化粧台等 水まわりや、耐温水性が必要な部位は、
                防カビタイプ 1成分形シリコーン系(脱オキシム形)シーリングとする。
              ・ シーリング充填工法・ シーリング再充填工法
              ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法
        (3.7.8) シーリング材の試験
              簡易接着性試験 引張接着性試験 行わない
   7 とい (3.8.2) 材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)
       (表3.8.1)
       (表3.8.2) とい受金物及び足金物
                                         取付け間隔
                といの材種
             工法 図示(図面番号:
   8 アルミニウム製 部材の種類
              - 押出し250形 - 押出し300形
                                     • 押出し350形
             板材折曲げ形(本体幅() )mm、板厚 2.0mm ()
       (表3.9.1)
       (3.9.3)(2) 固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ ( )
       (3.9.2)(4) 表面処理 • (
        (3.9.3) 工法 既存笠木等の撤去

    図示(図面番号:

                  下地補修の工法

    図示(図面番号:

                  板材折曲げ形の笠木の取付方法 • 図示(図面番号:
                  笠木固定金具の工法
                                図示(図面番号
             建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。
  9 保証書
                 工事区分
                                         保証年数
                            防水工事
                                        • 10年
                            FRP防水

    10年

                            (・) シーリング
                                      (・) 5年
   1 施工数量調査
             行う ・ 行わない
               調査範囲・全面・()
               調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)
外
                   はがれ及びはく落部分
                    • 浮き部
壁
               調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 足場 ・ ゴンドラ)
               報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)
改
   2 改修工法の種類
                                               改修工法
                              種類
                  外壁
修
        (4.1.4)
                                       樹脂注入工法
        (4.1.5)
エ
               コンリート打放し
                             ひび割れ部
                                      Uカットシール材充填工法
                仕上げ外壁
                                       シールエ法
                              欠損部
                                      Ć 充填工法
事

    樹脂注入工法

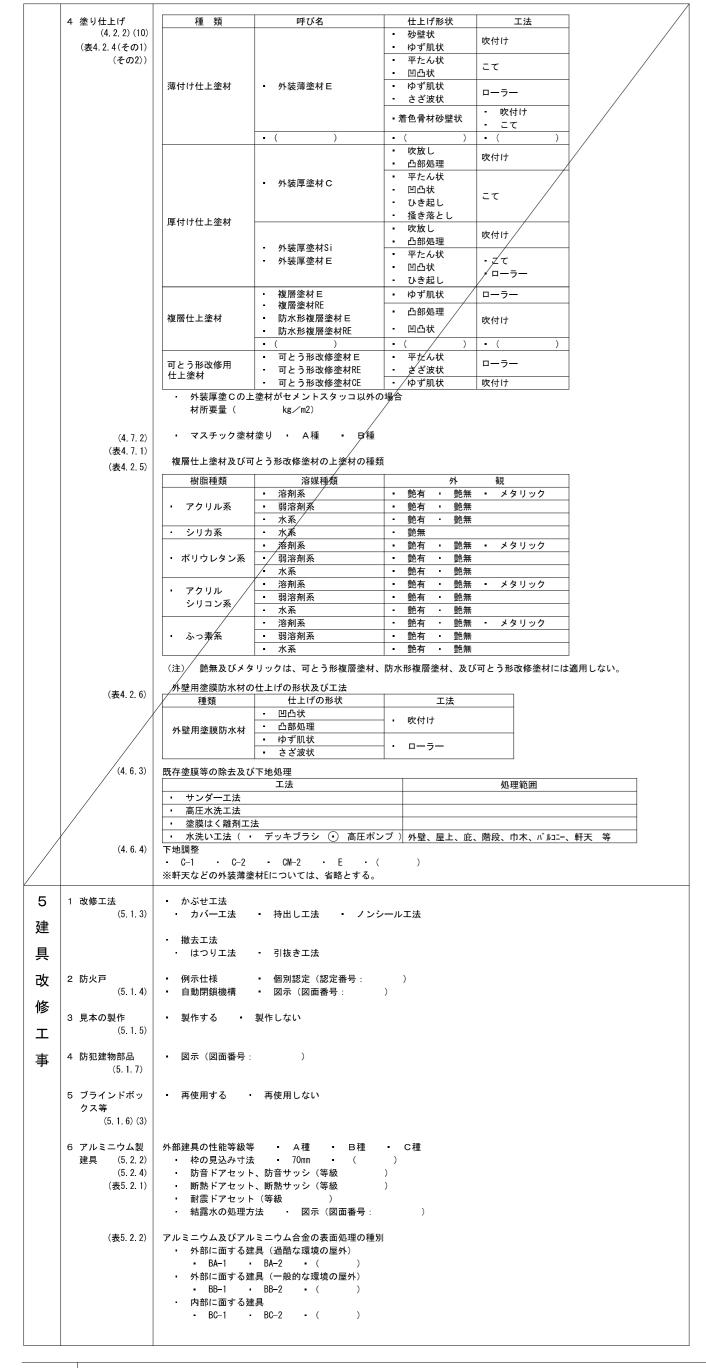
                             ひび割れ部
                                      Uカットシール材充填工法
                                      シール工法
                                       充填工法
                              欠損部
                                      モルタル塗替え工法
                                      アンカーピンニング
                                       部分エポキシ樹脂注入工法
              モルタル塗り仕上
                                       全面エポキシ樹脂注入工法
               げ外壁
                                       ■ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                       ╱ 注入口付アンカーピンニング
                              浮き部
                                       ■ 部分エポキシ樹脂注入工法
                                       全面エポキシ樹脂注入工法
                                       全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                       充填工法
                                      モルタル塗替え工法
                                       樹脂注入工法
                             ひび割れ部
                                      Uカットシール材充填工法
                                      タイル部分張替え工法
                                      タイル張替え工法
                                       アンカーピンニング
                                       部分エポキシ樹脂注入工法
                                       全面エポキシ樹脂注入工法
                                       全面ポリマーセメントスラリー注入工法
              タイル張り仕上げ
                                      注入口付アンカーピンニング
               外壁 /
                             浮き部
                                       部分エポキシ樹脂注入工法
                                      ・ 全面エポキシ樹脂注入工法
                                      ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                       エポキシ樹脂注入タイル固定工法
                                      ▪ タイル部分張替え工法
                                      タイル張替え工法
                                      目地ひび割れ部改修工法
                                      ■ 伸縮調整目地改修工法
                                       薄付け仕上塗材塗り
                                       ・ 厚付け仕上塗材塗り
                                       複層仕上塗材塗り
                             新規仕上げ
              塗り仕上げ外壁
                                      可とう形改修用仕上塗材塗り
                                       - 各種塗料塗り
                                      マスチック塗材塗り
                                      外壁用塗膜防水材塗り
```

								/
3 改修工法等	樹脂注入工法	T = +2 + 2 .##	昨年3 工 件					
(4. 2. 2) (1) (4. 3. 4)			脂汪人工法)注入間隔()				/
(4. 4. 5)	• 手動式工:		入工法) 注入口間隔()				/
(4. 5. 5)	ユハ重 ・ 機械式エ:			,				
	注入量 材料 エポキシ樹脂)注入口間隔(築材修用注入エポキ	(共祀)			/	/
	・ 低粘度形			ン倒加)				
	コア抜取検査 ・ ・		行わない)					
	- 抜取り部:							
(4. 2. 2) (2)	 - Uカットシール材充:							
(4. 3. 5)	材料 ・ シーリン	グ用材充填						
(4. 4. 6) (4. 5. 6)	(PU 可とう性		PU-2 · (充填))			
	シーリング材の上に							
	• 行う	・ 行わない				,		
(4. 2. 2) (3) (4. 3. 6)	- シール工法 材料 - パテ状エ:	ポキシ樹脂						
(4. 4. 7)	• 可とう性							
(4. 2. 2) (4)	│ • 充填工法							
(4. 3. 7)	材料 ・ エポキシャ							
(4. 4. 8)	・ポリマー・	セメントモル	ダル					
(4. 2. 2) (7) (4. 4. 9)	モルタル塗替え工法 材料 現場調合		Ⅲ ■◆ ##					
(4. 4. 9)	既製目地材の							
(4. 2. 2) (5)	仕上げ厚(アンカーピンニン・	-	シ樹脂注入工法		/	/		
(4. 4. 10)	アンカーピンの本	数 • 標準	• (•				
(図4.4.1)	材料 ■ ステン 	レス鋼(SU	S304) · ()/			
(4. 2. 2) (5)				,	/ 、			
(4.4.11) (図4.4.2)	1		数 標準 S304) (/))			
(4. 2. 2) (5)	アンカーピンニン・	グタあポリフ	ー セメントスラリー	± 1 ≠ ±				
(4. 4. 12)	アンカーピンの本	数び注入口の	数・標準・	(/)			
(図4.4.2)	材料 ・ ステン	レス鋼(SU	S304) · ()			
(4. 2. 2) (6)	1		/					
(4.4.13) (図4.4.3)	注入口付アンカー 材料 ・ ステン)			
	呼び径 • 6mm	• () /					
(4. 2. 2) (6)	- 注入口付アンカー							
(4.4.14) (図4.4.4)			び注入口の数 ・ S304) ・(• ()		
(2)	呼び径 · 6mm		<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,			
(4. 2. 2) (6)	注入口付アンカー	ピンニング全	面ポリマーセメント	スラリー	注入工法			
(4. 4. 15)			び注入口の配置・ スラリー(• ()		
(図4.4.4)	1	- /	ペフリー (ピン (・ ステン		SUS3	04) • ())	
	呼び径 ・ 6mm	• (/)					
(4. 2. 2) (8)	• タイル部分張替え	/						
(4. 5. 7)		/	メントモルタル 液反応硬化形変成シ	リコーン	樹脂)	• ()	
								1
	施工箇所	形状	寸法	耐滑	り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無	
	役物 (一体成) 試験張り 行う							
	● 見本焼き/・ 行う	行わな	い					
	既調合モルタル	使用する	使用しない					
(4. 2. 2) (8) (4. 5. 8)	・タイル張替え工法							٦
(表4.5.4)	ダイルの種類		タイルの大きさ		■ 密着	工法 ・張り	塗り厚(mm) 5~8	-
	- /外装 タイル	小口以上	二丁掛け以下		改良	積み上げ張り	7~10 下地側 4~6	
						圧着張り	タイル側 3~4	
	・ ユニットタイル	- 25mmf	角を超え小口未満 ト満		• マス • モザ	ク張り イクタイル貼り	3~4 3~5	-
(4. 5. 15)/	/ ・ 注入口付アンカーピ			 固定工法			<u> </u>	_
	注入口付アンカーピ	ンの本数(本)					
(4. 2. 2) (9)	目地ひび割れ部改修							
(4/5. 16)	■ 伸縮調整目地改修工 伸縮調整目地	丢						
	(位置 寸		×)					
/	検査 シーリング接 ・ 行う(・ 簡:		• 引張接着性	試験)				
/								
I	1							



1 級建築士事務所 登録 (三重 1 — 1 9 8 7 号) 〒518—0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp





```
(5.2.3)(5) 防虫網の材質
           ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製
           16メッシュ18メッシュ
8 樹脂製建具
           外部に面する樹脂製建具の性能等級等
 (5.3.2) \sim (5.3.5)
           • A種 • B種 • C種
           防音ドアセット、防音サッシ(等級
    (表5.3.3)
            断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
            ガラス 複層ガラス (
            建具枠見込寸法 図示(図面番号:
            水切り ・ 図示(図面番号:
            ぜん板 ・ 図示(図面番号:
            丁番 改修標準仕様書(表5.7.3)による 図示(図面番号:
9 鋼製建具
           鋼製建具の性能等級
     (5.4.2)
           簡易気密性ドアセット
           外部に面する建具の耐風圧
            · S-4 · S-5 · S-6
           ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
           断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
           耐震ドアセット(等級
     (5.4.4) H>2400又はW>950の建具
            鋼板類の厚さ • 図示(図面番号:
(10)鋼製軽量建具
          鋼製軽量建具の性能等級
     (5. 5. 2)
           簡易気密性ドアセット
      (5.5.5)
            ■ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
           断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
     (5. 5. 3)
           耐震ドアセット(等級
     (5.5.4)

    H>2400又はW>950の建具

    (5.6.3)(1)
             鋼板類の厚さt=0.6 · 図示(図面番号:A-15
           表面仕上げ
            ■ ビニル被覆鋼板
            カラー鋼板
            ステンレス鋼板( • HL • 鏡面)
           (★) (焼付塗装)
11 ステンレス製
           ステンレス製建具の性能等級
            簡易気密性ドアセット
 建具
     (5.6.2)
            外部に面する建具の耐風圧
             • S-4 • S-5 • S-6
            ■ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
            断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
            耐震ドアセット(等級
           材料 • SUS304 • ( )
     (5.6.4)
           表面仕上げ ・ 出仕上げ ・ (
           曲げ加工・ 普通曲げ・ 角出し曲げ
           金物の見え掛かり部等の材質等
12 建具用金物
     (5.7.2)
           ■ 改修標準仕様書(表5.7.1)による

    図示(図面番号:

     (5.7.4) マスターキー * 製作する(既設合わせ) * 製作しない
           引渡用鍵箱 必要 不要
13 自動ドア開閉
           駆動装置及び検出装置の性能値( ・ 多機能トイレ出入口用 )

    図示(図面番号:

 装置
     (5.8.2)
     (5.8.3) 引き戸用検出装置の種類
    (表5.8.4)

    図示(図面番号:

    (5.8.3)(7) 凍結防止措置 - あり · なし
14)自閉式上吊り
           自閉式上吊り引戸装置の性能値
           (・) 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ( )
 引戸装置
    (5.9.3)
| 15 重量シャッター | 種類
     (5.10.2) - 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター
           - 屋内用防火シャッター - 防煙シャッター
           耐風圧強度 (Pa以上)
   (5.10.2)(3) 開閉機能
    (表5.10.1) 上部電動式 (手動併用) 上部手動式
   (5.10.2)(6) 一般重量シャッターのシャッターケース
     (5.10.3) 設ける 設けない
            めっき付着量Z12F12( )
16 軽量シャッター 開閉形式
     (5.11.2) 上部電動式 (手動併用) 手動式
    (表5.11.1) 耐風圧強度(
                    Pa以上)
     (5.11.3) スラットの材質及び形状
     (5.11.4) ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
           ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( )
                    JIS G 3322 • AZ90 • ( )
```

```
7 オーバーヘッド | 型式及び機構
             セクション材料
       (5.12.2) ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
              開閉方式
               バランス式チェーン式・ 電動式
              スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形
              - 溶融亜鉛めっき鋼板 - ステンレス鋼板
   (18)板ガラス
              (·) 図示(図面番号: A-15)
      (5. 13. 2) (1)
       (5.13.4)
   (19)ガラス留め材
              (•) シーリング • ガスケット ( )
      (5. 13. 2) (2)
   (20)ガラス溝の寸法、
               図示(図面番号:
    形状等
               (・) 建具の製造所の仕様による
       (5. 13. 3)
   21 ガラスブロック | ガラスブロック
             表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号:
       (5.13.5) 金属枠、補強材 図示(図面番号:
              化粧カバー ・ 図示(図面番号:
              工法 図示(図面番号:
              建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。
              既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲
6 (1)一般事項
                         図示
       (6. 1. 3) (2)
                  改修部分
内
装
                         (・) 図示
改
       (6.1.3)(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
       (6.1.3)(5) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
エ
   (2)既存床撤去、下 | 既存床仕上げ材の除去等
             浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
    地補修
     (6.2.2)(1)(7) (・) 行う 行わない
      (6.2.2)(1)(4) 合成樹脂塗り床材の除去等
              機械的除去工法 目荒し工法
       (6.2.2)(3) 改修後の床の清掃範囲
              (・) 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
    3 既存壁撤去、下 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
    地補修
        (6.3.2)
   4 木下地等
              表面仕上げ
       (6.5.1)(3) 機械加工 A種 B種 C種
               手加工 · H-A種 · H-B種 · H-C種
       (表6.5.1)
       (表6.5.2) 木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)
     (6.5.2)(1)(1) 部材名称
       (表6.5.3)
                  下地材
     (6.5.2)(2)(7) 製材
              「製材の日本農林規格」による製材
                                          等級
                                              含水率 保存処理 材面の品質
                           樹種・寸法・形状
                                       • ( ) | • ( ) | • ( )
              針葉樹製材
                          (図面番号
              造作用
                          図示
                                       - ( ) | - ( ) | - ( )
              針葉樹製材
                          (図面番号
              広葉樹製材
                          図示
                                       • ( ) | • ( ) | • (
                          (図面番号
      (6.5.2)(2)(4) 「製材の日本農林規格」以外の製材
      (6.5.2)(2)(ウ) 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 図示(図面番号:
        (表6.5.4) 造作材の材面の品質 · A種 · ( )
              樹種
                                樹 種
                                                県 産 材
     (6.5.2)(3)(7) 造作用集成材
              「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
                 部 位
                           品名 • 樹種
                                       見付け材面の寸法・品質・数
              造作用集成材
                                        図示
                          (図面番号
                                         (図面番号
              化粧ばり造作用
                        図示
                                         図示
                                                        - (
              集成材
                          (図面番号
                                         (図面番号
              化粧ばり構造用
                                                        • (
              造作用集成柱
                          (図面番号
              ※三重県産材を使用すること。
```

(6. 5. 2) (4) (7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本 部位		による造作用単析 品名・寸法		面の品質	 防虫処理	\neg	
	造作用単板積層材	- 図)	• ()		
(6. 5. 2) (4) (1)	「単板積層材の日本 寸法、表面の品質、 含水率 • 14%	防虫処理	図示(図面者	备号 :)			
(6. 5. 2) (5)	「直交集成板の日本 品名、曲げ強度、種				(図面番号:)		
(6. 5. 2) (6)	• 合板等							
	品名(品目) 構造用合板	樹種名	接着の程度	<u>等級</u> I 類	板面の品質	防虫処理等	厚さ 24	
(6. 5. 3) (1)	接合具等 造作材化粧面の釘打	·t • 12	31 &T tT ±	(,			
(6. 5. 3) (2)	諸金物 形状、寸法及び材質				,			
(6.5.5) (1)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 保存処理性能区 薬剤の塗布等の 附属書Aに基づ	! : (図面番号 :分(·処理方法(「く表面処理	; :)	・適用する((・薬剤の種	類()	適用部	材()
(6.5.5) (2)	• 防虫処理 • 図示(図面番号			·				
5 軽量鉄骨天井下 地	21 424 11 12 12 12	19₩ •	()					
(6. 6. 2) (表6. 6. 1)	屋内 屋外	25形 •	()					
(6. 6. 3)	形式及び寸法		INI					
	屋外 耐震天井 ふところ≧1.	•	図示(図面番号 図示(図面番号 改修標準仕様書(:)	図示(図	面番号:)	
(6. 6. 4)	既存埋込みインサー・使用する 既存埋込みインサー・行う(図示・確認試験の箇 耐震性・耐風圧性を・	使用し ト、あと施 (図面番号 所数(考慮した補	iエアンカ―の確言 ├ :) 箇所) i強		iわない)		
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)7 ビニル床シート、	・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の箇 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー	・ 使用した ・ (図の番号 ・ (図のである) ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。) ・ (() () () () () () () () () () () () (ミエアンカーの確語 ::) 箇所) i強)	忍試験) - 行・確認強度(よる。	iわない			
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) フビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ	・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の箇 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー	・ 使用した ・ (図の番号 ・ (図のである) ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。) ・ (() () () () () () () () () () () () (エアンカ―の確語 →:) 箇所) 部強)	忍試験) - 行・確認強度(よる。	iわない		備考	
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) 7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2)	 ・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の箇 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー 材料 ・ ビニル床シー 	・ 使用した ・ (図の番号 ・ (図のである) ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。 ・ (図のである。) ・ (() () () () () () () () () () () () (Eエアンカーの確語 :	忍試験) - 行・確認強度(よる。	うわない		備考	
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) フビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り	 ・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー 材料 ・ ビニル床シー 種類の記号 FS 	使用した 使あ番号 (所数慮した補 をどの種類 ト【JIS A	 エアンカーの確請 箇所) 請強 」 5705 (ビニル系展 毎柄 無地 	忍試験) - 行・確認強度(よる。	fわない ()	備考	
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) フビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	 ・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー 材料 ・ ビニル床シー 種類の記号 	使用した 使あ番号 (所数慮した補 をどの種類 ト【JIS A	 エアンカーの確請 箇所) 請強 」 5705 (ビニル系展 毎柄 無地 	忍試験) - 行・確認強度(よる。	fわない ()	備考	
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) フビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	 ・ 使用する 既存埋込みインサー ・ 行う(図示 ・ 確認試験の 耐震性・耐風圧性を ・ 図示(図面番 スタッド、ランナー 材料 ・ ビニル床シー 種類の記号 FS ・ 防滑性床シー 	使用した 使あ番号 (所数慮した補 をどの種類 ト【JIS A	 エアンカーの確計 箇所) 請強 う 5705 (ビニル系原	忍試験) - 行・確認強度(よる。	「 (「 厚さ 2.0mm	参考型番:	備考	
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) 7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	・ 使用する 既存埋込みインサー ・ では認識になる。 ・ では認識に関する。 ・ では認識に関する。 ・ では、 ランナー ・ は、 ランナー ・ は、 ランナー ・ は、 カンナー ・ は、 カ	使用した 使あ番号 (所数慮した補 をどの種類 ト【JIS A	 エアンカーの確計 箇所) 請強 う 5705 (ビニル系原	忍試験) - 行 確認強度 (厚さ 2.0mm	参考型番: 備考	備考)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2) (6.8.2) (1)	 ・ 使用する ・ はいます ・ ないます ・ な	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3エアンカーの確論 : 箇所) : 箇所) : : : : : : : : : :	忍試験) ・ 行 確認強度 (よる。	厚さ 2.0mm	参考型番: 備考)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) 7 ビニル床シート、ビニル床タイル 及びゴム床タイル 現り (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ)	・ 使用する ・ 使用する ・ 使用する ・ では ・ では	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エアンカーの確 : 箇所) i強) iは、(表6.7.1)に 5705 (ビニル系原 色柄 無地 イル マルフレイ	忍試験) - 行 ・ 確認強度 (よる。 k材)】	厚さ 2.0mm	参考型番: 備考 地 · その)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ)	・ 使用する ・ 使用する ・ 使用する ・ では ・ では	・ト(所考号 な ト ト タ 適 種そ した番(エアンカーの確 : 箇所) : 箇所) : : : : : : : : : :	認試験) ・ 行・ 確認強度・ よる。・ k材)】・ ソング材塗り・ 、	厚さ 2.0mm 厚さ ・ 木下	参考型番: 備考 地 · その	他(コンクリート	色柄 - 無地
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) 7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ)	・ 使用する ・ 使用する ・ 使用する ・ では ・ では	・ト(所考号 な ト ト タ 適 種そ紡(使あ面(した 種 S I I I I I I I I I I I I I I I I I I	エアンカーの確論:	忍試験) ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	厚さ 2.0mm 厚さ - 木下 帯電性 - 人体帯電品 3KV以下	参考型番: 備考 地 その 品:	他(コンケリート	色柄
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)	 ・ 使込っでは、	・・ト(所考号 な ト ト ト タ 適 種そ紡(し 一 使あ面(し の U J I S は 塗 す 関毛糸)商 ツ 田と番 に 種 S A 床 り る 品 ト し 施号 補 類 S A	エアンカーの確論: 箇所)	忍試験) で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	厚さ 2.0mm 厚さ - 木下 帯電性 - 人体帯電品 3KV以下	参考型番: 備考 品: 以下同様	他 (コンクリート 質の程度 ()	色柄 - 無地 - 柄物
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、 ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)	 ・ 使込行確・図 ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・・ト(所考号 な ト ト ト タ 適 種そ紡(し 一 使あ面(し の U J I S は 塗 す 関毛糸)商 ツ 田と番 に 種 S A 床 り る 品 ト し 施号 補 類 S A	エアンカーの確論:	認試験 ・ 度 ・ は ・ なる。 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	原 (厚 2.0mm	参考型番: 備考 地・その 品: 以下同様 接着法法	他 (コンケリート 質の程度 ()	色柄 - 無地 - 柄物
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)	 ・ 使用するシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできるシークスのできる。 ・ なり、 はいのできるのできる。 ・ なり、 はいのできるのできる。 ・ はいのできるのできる。 ・ はいいのできる。 ・ はいののできる。 ・ はいのできる。 <l< td=""><td>・ ト (所考号 な ト ト タ 適 種そ紡 し 一状 使あ面(し の JIS は 塗 す 類毛糸)商 ット 日と番 た 種 S A タ は か る スター・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー</td><td>エアンカーの確論: 箇所) i強) iは、(表6.7.1)に 5705 (ビニル系E 色無地</td><td>認試験 ・ ででである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>原 (厚 2.0mm</td><td>参考型番: 備考 地・その こ。 こ。 こ。 こ、以下同様 工法</td><td>他 (コンクリート 質の程度 ()</td><td>色柄 - 無地 - 柄物</td></l<>	・ ト (所考号 な ト ト タ 適 種そ紡 し 一状 使あ面(し の JIS は 塗 す 類毛糸)商 ット 日と番 た 種 S A タ は か る スター・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	エアンカーの確論: 箇所) i強) iは、(表6.7.1)に 5705 (ビニル系E 色無地	認試験 ・ ででである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	原 (厚 2.0mm	参考型番: 備考 地・その こ。 こ。 こ。 こ、以下同様 工法	他 (コンクリート 質の程度 ()	色柄 - 無地 - 柄物
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (3) (オ) (カ) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)	 ・ 使込行確・図 ・	・ ト (所考号 な ト ト タ 適 種そ紡 (し 一状 プ カ 関 と番 に	エアンカーの確計: 箇所) 語論) 話は、(表6.7.1)に 5705 (ビニル柄 無地 イル 寸法 ・ セルフレイ・ ・ 適用しなは パイルパイルルーッ は、品質の形れルルー。は、品質の形れルルー。は、品質の形ないルー。は、 パイル長(mm) パイル長(mm)	 器試験 ・ 在認強度 ・ よる。 ・ 大け、 <l< td=""><td>原 (厚 2.0mm</td><td>参考型番:</td><td>他 (コンクリート 質の程度 () i) 品質の程</td><td>色柄 - 無地 - 柄物</td></l<>	原 (厚 2.0mm	参考型番:	他 (コンクリート 質の程度 () i) 品質の程	色柄 - 無地 - 柄物
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) アレニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(6.8.2)(1) (6.8.2)(3)(オ)(カ) (6.8.3)(1) (6.8.3)(2)(ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	 ・ 使込行確・図 ・	・ ト (所考号 な ト ト タ 適 種そ紡 (し 一状 プ カ 関 と番 に	エアンカーの確 : 箇所) : 箇所) : は、(表6.7.1)に 5705 (ビニル系 - 色無地 イル 寸法 - セルフレイ - 適用しない パッープパ、ルー は、品質の配程度で パイル長 (mm) ボイルトのボイルー は、品質の不足でで は、3KV以下	 器試験 - 行 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 は、 が、 は、 が、 が、 が、 で、 で、	原 (厚 2.0mm	参考型番: 備考 地・その 品: 以下同様 接着法法	他 (コンクリート 質の程度 () i) 品質の程	色柄 - 無地 - 柄物
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) 7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル後り (6.8.2) (6.8.2) (1) (6.8.2) (6.8.3) (1) (6.8.3) (2) (ウ) 8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)	 ・ 使込行確・図 ・	・ ト (所考号 な ト ト タ 適 種で紡 (し 一状 プ カ 世 を	エアンカーの確 : 箇所) i強) (は、(表6.7.1)に 5705 (ビニル柄 無地 イル 寸法 ・ セルフレイ ・ 適用しない パッープパ、ルー は、品質ので程度で パイル長(mm) ボイル長(mm)	思試験 ・ 在認強度 (よる。 ・ はか) 】 ・ はかから では、 は、 は	原 (厚 2.0mm	参考型番:	他 (コンクリート 質の程度 () i) 品質の程	色柄 - 無物 - 柄物

(6. 9. 3) (3)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンドエ法	• ()			
(6. 9. 3) (5)	タイルカーペットの敷き方	市松敷き・模様流し	• ()		
		市松敷き 模様流し			
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕 ・ 平滑仕上げ ・ 防	滑仕上げ ・ つや消した	土上げ		
(6. 10. 3) (2) (b) (6. 10. 3) (3)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ: - 薄膜流しのべ仕上げ(厚膜流しのべ仕上げ	ず(・ 平滑 ・	防滑)
(表6.10.5)~ (表6.10.8)	■ 樹脂モルタル仕上げ(• 平滑 • 防滑) •	薄膜型塗床仕上げ	(• 平滑)	
0 フローリング	- 釘留め工法				
張り (6.11.4)	材料・ フローリングボード	種別縁甲板	樹和	<u> </u>	
(表6.11.2)	(根太張用)	- A種	1	ъ	
	· 複合フローリング (根太張用)	• B種 • C種	• ()	
	防湿処理 - 図示(図面番·	号:)	-		
(6.11.5) (表6.11.5)	■ 接着工法 材種		樹種	厚さ	大きさ
(表6.11.6)	• フローリングボー	-ド(直張用)		7	X C C
	• フローリングブロ • 複合フローリンク		・ なら ・ ()		
	• A種 • B種	· C種			
	緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シー	一卜 • 図示(図面番号:	:)		
(6.11.6) (3)	塗装・ ウレタン樹脂ワニス塗	り(1液形、B種)			
	オイルステイン塗りの生地のままワックス塗()				
1 畳敷き	種別 • A種 • B種	• C種 • D種			
(6. 12. 2) (表6. 12. 1)	D種の畳床 KTー(• 1 • п • ш	· K · N)		
2)せっこうボード、			1		
その他ボード 及び合板張り		種別	壁 •	厚さ(mm) 12.5(不燃)	
(6. 13. 2)	・ せっこうボード		•	15(不燃) 9.5(準不燃)	21(不燃)
(表6.13.1)		・ トラバーチン模様	# .	12.5(不燃) 不燃) 9.5(準	
	・)化粧せっこうボード	· 木目模様 _ * 普通		不燃) - 9.5(準	
	- ロックウール化粧吸音板	立体模様 ・ タイプⅡ0.8FK	• 9() • ()
	・ けい酸カルシウム板 ・ 化粧けい酸カルシウム板	タイプⅡ0.8FK	- 6	• 8	
(6. 13. 2) (8)	シージングせっこうボー 遮音シール材	- F	• 12.5	(不燃)	
	・ シーリング材 ・ ジ	ョイントコンパウンド			
(6. 13. 3) (5) (7)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種				
(6 10 0) (7) (7)					
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ・ 突付け	目透し			
3 壁紙張り	施工箇所	種類		防火性能	
(6. 14. 2)	図示	1.2.74		不燃 準不燃	ţ
4)モルタル塗り	モルタル • 現場調合材料	■ 既調合材料			
(6. 15. 3) (6. 15. 5)	既製目地材 ・ 使用する(i 床の目地 ・ 図示(図面:				
(6. 15. 6)	下地処理・壁面の仕上		図示(図面番号:)	
5タイル張り (6.16.2)	伸縮調整目地 位置 · 図示(図面:	포 무·)			
(6. 16. 3)		田 5 .)			
	タイルの種類 施工箇所 形	状 寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無
	便所床 磁器質モ		IMINE VIT	標準	
(6. 16. 3) (2)	試験張り ・ 行う 行: 見本焼き ・ 行う ・ 行:				
	既調合モルタル ・ 使用で				
	- せっこう系 - セメン 涂厚 () mm	卜系			
6 セルフレベリ	塗厚()mm				
ング材塗り (6. 17. 2)					
ング材塗り					
ング材塗り (6. 17. 2)	断熱材打込み工法 種類	種別	厚さ(mn) 施工	:箇所
ング材塗り (6.17.2) (6.17.3) 7 断熱材	種類・ ビーズ法ポリスチレンフ	フォーム			
ング材塗り (6.17.2) (6.17.3) 7 断熱材	種類 ・ ビーズ法ポリスチレンフ・ 押出法ポリスチレンフォー	フォーム +ーム 3種b	厚さ(mn 25		2部分
ング材塗り (6.17.2) (6.17.3) 7 断熱材	種類 ビーズ法ポリスチレンフ・ 押出法ポリスチレンフォー	7ォーム +ーム 3種b -ム			

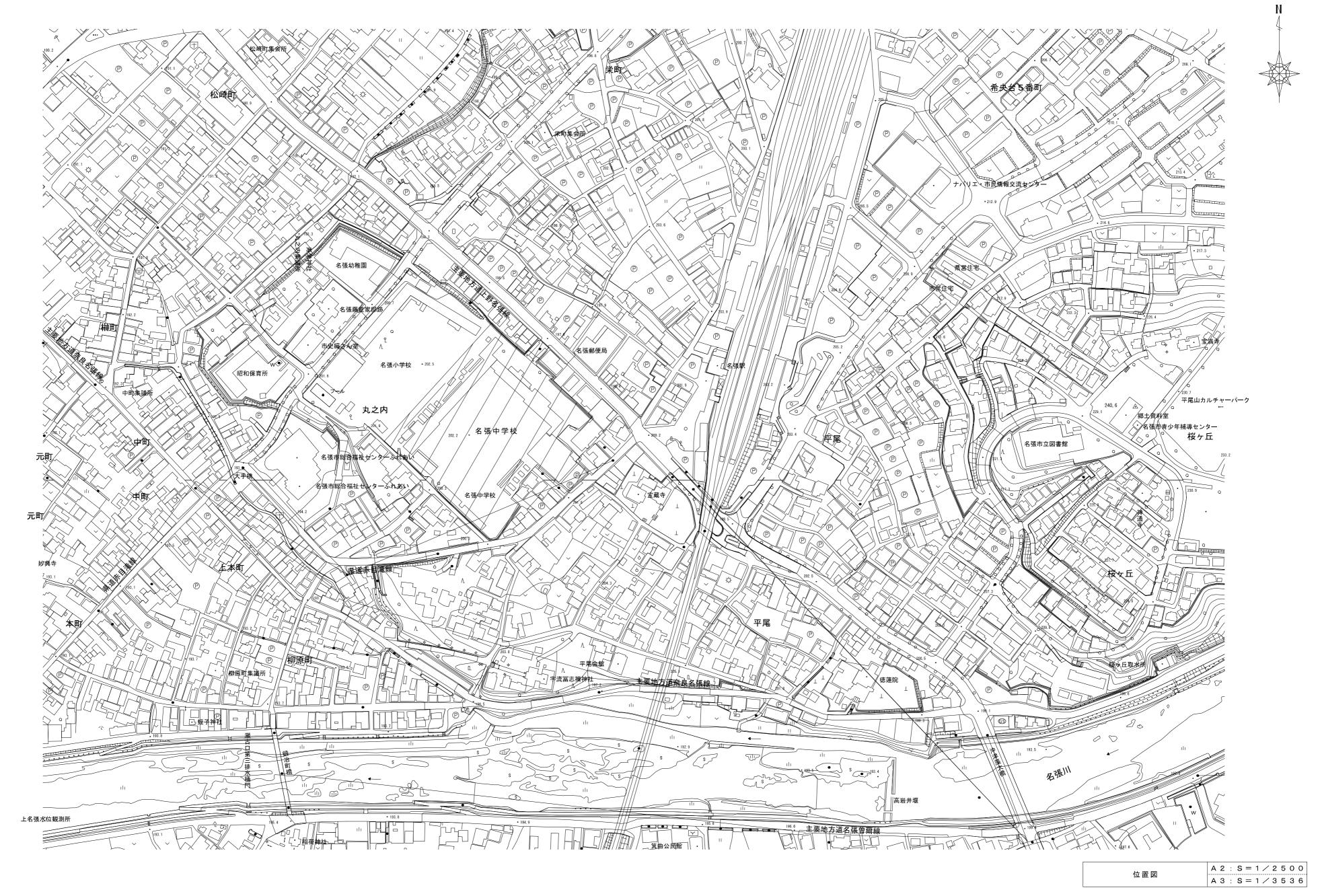
7	1 材料 (7.1.3)	- 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 - 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:
塗	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでRB種の場合) ・ 図示(図面番号:
装改	(表7.2.1) ~ (表7.2.7)	種別 ひび割れ部の補修 ・ 木部 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
修		・鉄鋼面 ・RA種・RB種・RC種 ・亜鉛めっき鋼面 ・RA種・RB種・RC種 ・モルタル、プラスター面 ・RA種・RB種・RC種・行う
エ		・ コンクリート、A L Cパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
事		(・) せっこうボード、その他ボード面
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4 合成樹脂調合ペ	亜鉛めっき鋼面 - A種 - B種 - C種 塗料種別 - 1種 - ()
	イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5)	種別
	(表7.4.3) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	5 クリヤラッカー 塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 - A種 - B種
	6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 - A種 · B種
	7 耐候性塗料塗り	上塗り等級
	(DP) (7. 8. 2) ~ (7. 8. 4)	1級(フッ素系) - 2級(シリコン系) - 3級(ポリウレタン系) 下地 種別 鉄鋼面 - A種 - B種 - C種
	(表7.8.1)~ (表7.8.3)	亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び ・ A-1種 ・ A-2種 押出成形セメント板面 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種
	8 つや有合成樹脂 エマルションペ	種別
	イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5)	コンクリート、モルタル、
	(表7.9.1)~ (表7.9.4)	木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄銅面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき銅面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種
	9 合成樹脂エマ	種別
	ルションペイン ト塗り (EP) (7. 10. 2) (表7. 10. 1)	・ A種 (・) B種 ・ C種 (しみ止め ・)
9 環境	1 石綿含有建材の 除去工事 (9.1.1)	施工調査
配慮改修	(9.1.5)	石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 石綿含有せっこうボードの処分
工事		埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融又は無害化による) ※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」(平成29年5月30日付け 環水大大発第1705301号)及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材から の石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所)に 基づき適切に処理すること。
10	1) トイレブース	パネル表面材 ※ メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き) ・ ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き)
そ	2)点検口	脚 部 (ステンレス製) ※幅木タイプ ・ 脚金物タイプ ・ 天井点検口 ※アルミニウム製 (※額縁タイプ ・ 目地タイプ)
の他工事	之) 点快口	・ 床点検口 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 受け枠(・)



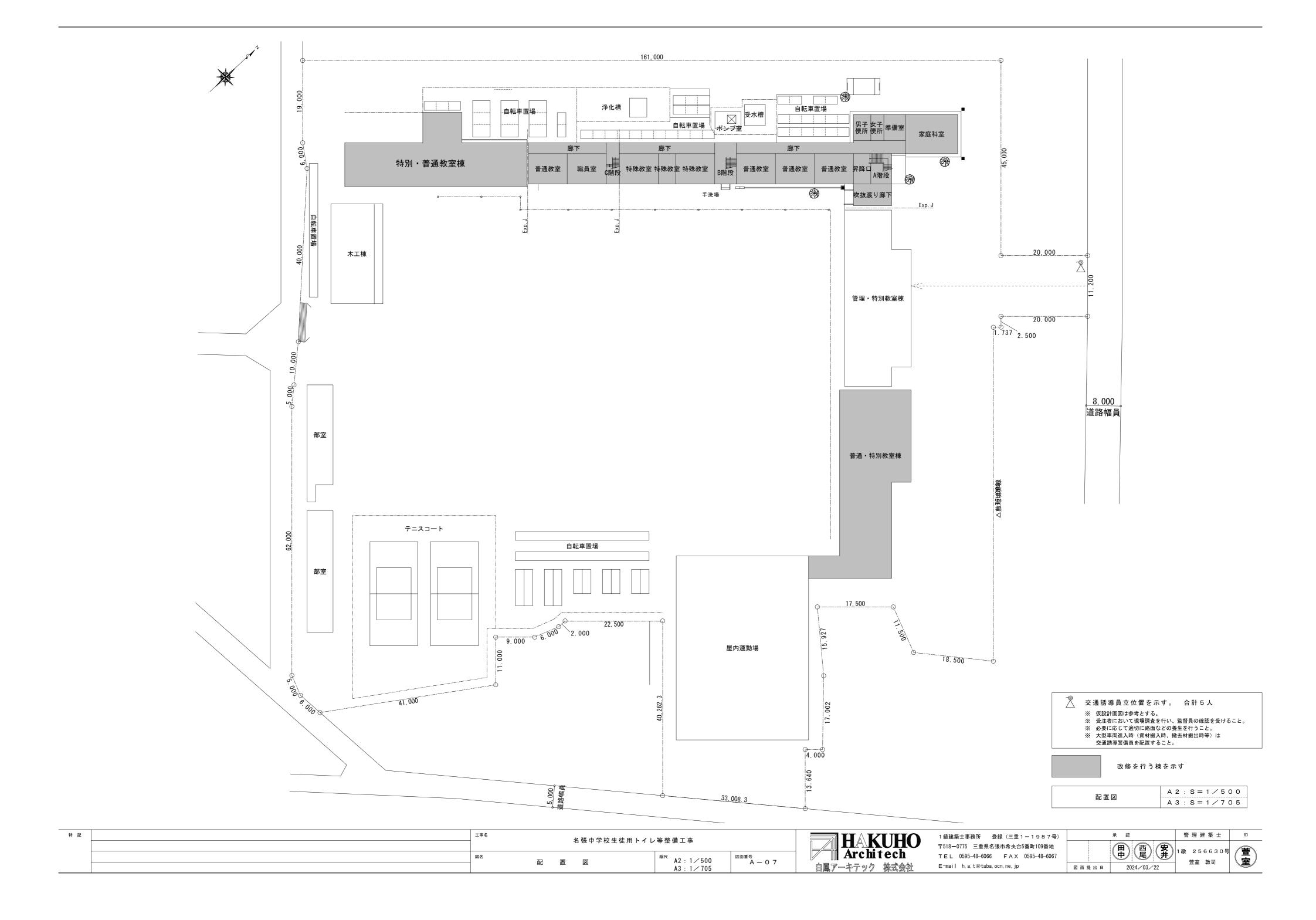
1 級建築士事務所 登録 (三重 1 - 1 9 8 7 号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp



特記仕様書5 は 特記仕様書1~4	、 に記載のない工事種目に適用する。	6 場所打ちコンク	コンクリートの設計基準強度 、種別 (4.5.4)(表4.5.1)	6調合管理強度	構造体強度補正値(S) (外		1 路床	・遮断層 厚さ(mm)・ 材料 ※川砂、海砂、良質な山砂・ (22.2.2)
総則		リート杭地業	(・ N/mm²) (・A種 ・B種 ・図示による) セメントの種類 6章コンクリートエ事のセメントの種類による		打 設 期 間	(普通ポルトランドセメント) 補正値(N/mm²) 備 考	22 章	・路床安定処理 原本対料 原本・B種 ・B種 ・C種 ・D種 (22.2.3) (表3.4.1)
*** ***			構造体コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割増は N/mm ²		2/27~7/5 9/ 3~11/18 11/19~2/26	3.0	舗	・フィルター層 厚み ・車道150mm歩道50mm ・ (22.2.2~3)(表21.2.2)
(1)図面及び特記化	上様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 下「標仕」という。)による。		鉄筋の種別 5 章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4) 鉄筋のかぶり厚さ (mm) ※100		7/ 6~9/ 2	6.0 暑中期間	装 2 路床土の支持力比試験 エ	k ・行う(・乱した土 ・乱さない土) ・行わない (22.2.5)
2. 特記仕様			掘削工法 - (4.5.5) (4.5.6)	7 型枠	外部に面するコンクリート打ち 打ち継ぎ目地	がし仕上げの打増し ・20 ※図示 (6.8.1) ※幅 20×深さ 10 ・図示 (6.6.4)(9.7.3)	事 3 路床締固め度の試験	・行わない ・行う (22.2.5)
(1)項目は、〇印の	O付いたものを適用する。		根入れ深さ・1m以上・() 杭の水平方向の位置ずれの精度・ mm以下・())		ひび割れ誘発目地せき板の種類	※幅 20×深さ 10 図示 (6.8.1)(9.7.3) ※厚さ 12mm (6.8.2)	4 砂の粒度試験	・行わない ・行う
⊙印の付かない	②印の付いたものを適用する。 場合は、※印の付いたものを適用する。		れの水十万両の位直すれの相接 ・		※下記のいずれかとする。		5 路盤材料	路盤の厚さ 車道部(※150 ·)mm 歩道部(※100 ·)mm (22.3.2~5)
_	いた場合は、共に適用する。 成の () 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	7割り石,砂,砂利			(2)「コンクリート型枠用合材			種別及び呼び名 ※クラッシャランC-40又はクラッシャランス方グCS-40 再生クラッシャランRC-40
(4)特記事項に記載	我の(別)は、(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。	捨コンクリート地類	・捨コンクリート地業 厚さ (mm) ・50 ・図示による (4.6.4)		(3) 床型枠用鋼製デッキプレ- 打ち放し仕上げの種別	ート (6.2.5) (表6.2.4)		締固め度の検査 ※行う (箇所) ・行わない
章 項 目	特 記 事 項		・床下防湿層 ポリエチレンフィルム 厚 0.15mm (4.6.5) 施工場所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)		<u>種別</u> 施 • A 種	工 箇 所	6 路盤の構成及び仕上が	り・標仕22.3.2(3)は適用しない (22.3.2)
1 災害及び公害の防止	(3.1.3) ※「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。	 (1)鉄筋の種類	(5, 2, 1) (表5, 2, 1)	_	※B 種 ・C 種		7 アスファルト舗装	構成及び厚さ ・車道部の基層なし 基層 - 表層 50mm (22.4.2) ・車道部の基層有り 基層 50mm 表層 30mm
3 章 2 根切り		5 章	種類の記号 呼び名 (mm)		・スリーブ材料 材種 ※標仕6.8.2(9)によ	(6.8.2) (表6.8.1)		・歩道部 基層 - 表層 30mm 配合その他 (22.4.4)
		学	· S D 345 ※ D 19以上			化ビニール管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付鋼管		加熱アスファルト混合物等の種類 (表22.4.4~5) 基層 ・粗粒度アスファルト混合物 (20)
土 3 埋め戻し及び盛土 工	·A種 ·B種 ·C種 ·D種	筋		8 フレッシュコンクリー		(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)		表層 ※密粒度アスファルト混合物(13)/又は密粒度アスファルト混合物(13 F)
事	建設発生土受け入れ量 m³ 発生場所 ()	工 ②溶接金網	網目の形状 (※正方形 ・) (5.2.2) 鉄線の径 () mm 寸法 () ②示	試験・強度試験		いては、監督職員の指示による。		細粒度アスファルト混合物(13)試験練り・行う※行わない
 4 建設発生土の処理	※構外搬出適切処理 (3.2.5)	3材料試験			20~50m ³ の場合は任意の一章 50m ³ 以上は 標仕6.9.3(1) に	車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。 による。		シールコート ・行う ※行わない (22.4.5) 切取り試験 ・行う ※行わない (22.4.6)
	・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所にたい積 ()		の提出を省略することができる。	9)軽量コンクリートの	の 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	18 · 21 · (6.10.2) (表6.10.1)		平たん性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度 アスファルト混合物の抽出試験 /・行う ・行わない
	・構外指示の場所に処分 搬出調書等を提出する。 受入れ施設名・場所 ()	4 継手及び定着	鉄筋の継手方法 (5.3.4) ※径 D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手	 種別 		施工場所() (t/m³) (※1.8~2.1t/m³程度 ·)	8 コンクリート舗装	構成及び厚さ (22.5.2)
	仮置場所 () () (※建設発生土 (50m3以上)を搬出する場合は、書面にて処分地の報告(位置図等)を行うこと。		 重ね継手 柱、はり主筋のかさね継手長さ () 	10 マスコンクリート) (6.13.1)		部位 厚さ(mm) 施工箇所 歩行者用通路 ※70 ・ 120 多目的便所前
	※建成光生工(JUNIO以上)を販出する場合は、香間にて処力地の報告(以直図寺)を行うこと。 また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。		定着	10 (7,13), 1	セメントの種類 ※高炉セメン	・トB種 (6.13.2)		車路 / - 150
1. 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。		※表5.3.4による。ただし、設計図書にて別記のあるものは設計図書による。		スランプ ※15cm	(6. 13. 2)		コンクリート ※表22.5.1による (22.5.3)(表22.5.1) 注入目地材 ※低弾性タイプ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
4	国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)		・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による。 (5.3.5) 施工箇所等 最小かぶり厚さ (mm)	11 無筋コンクリート		(6.14.2) (6.14.3)		厚さの試験 ・行う ※行わない (22.5.6) 平たん性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度
章 2. 施工記録 地	 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録をとりまとめ、				種類スラ	ランプ 設計基準強度 施 工 箇 所 Fc (N/mm²)	9 カラー舗装	構成及び厚合 ※標仕22.6.2による・・ (22.6.2)(表22.6.1)
業	翌週以内に監督職員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。 また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督職員の確認	6)各部配筋	各部配筋参考図1節[基礎及び基礎梁の配筋]から7節[梁貫通孔及びその他の配筋]に準じる		普通コンクリート ※153	又は18 ※ 18 捨てコンクリート		舗装の種類 ・加熱系(・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物) ・常温系(・ニート工法 ・塗布工法)
事	を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保	2 4 2000	(5. 3. 7)					車道部の基層 ・有り ※無し
	するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。	7 杭頭の補強方法	· A 形 · B 形 ※図 示 (別図1.1)	1 補強コンクリート 8 ブロック造の材料		普通ブロック 厚さ · 100 · 120 • 150 · (8.2/2) 防水ブロック 厚さ · 100 · 150		ト 厚さ ※歩道部30mm (22.7.2) マたん性 ※著しい不陸がないもの
3. 根拠資料	共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の	8 帯筋	帯筋の形状 (別図2.2)	- / / / / / / / / / / / / / / / / / /		の設計基準強度(Fc) ※21N/mm ² • (8.2.4)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	アスファルト ・歩道部 ※ストレートアスファルト (22.7.3)(表22.7.1)
	根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、 受注者においては全て適切に管理し、保管しなければならない。	9 ハンチの傾斜	・H 形 ・W-I 形 ※SP形 (スパイラル筋) ・丸 形 ・ハンチの傾斜 (※1:4 ・) (別図3.1)			る 厚き・100・120・150 (8.3.2)		試験練り ・行う ※行わない (22.7.4)
	保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。	10 壁開口部補強の種	一般型 (・A形 ※B形 ・図示) (別図4.2)	ク 帳壁及び塀	(b) コンクリートの設計基準強度 (C) 各部の配筋 ※標仕 各部配	度(Fc) ※21N/mm ² B筋参考図 7.3による ・ 図示		開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない (22.7.6)
	また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない		耐震壁 (※図示)			(8.4.2~8.4.5) (表8.4.2~4) (m²) 厚さ(mm) 耐火性能 取付け工法(種別)	11 ブロック系舗装	目地材 ※砂 ・モルタル (22.8.2) 舗石の基層 ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
4 試験及び報告書	・試験杭 ※図示による。 ・本数 本 寸法 m (4.2.2) ・杭の載荷試験 ※行う ・行わない (4.2.3)	11 はり貫通孔の補強	補強形式 H 形 M 形 MH形 図 示 (別図7.1)(表7.1~3) 既製型 / 建設技術評価規定において評価を取得したもの又は、\	ローツー	外壁パネル 1180 11間仕切パネル	960 ※100 · 125		平たん性 ※歩行に支障となる段差がない(3 mm以下) 舗石の種類 ・形状 ・寸法
	※試験杭の位置、本数、載苛荷重、試験方法、報告書の記載事項は図示による。 ・		(財)日本建築センターの評価を取得した製品	? A	・屋根パネル ・980 ・床パネル ・2350 ・3	※100 ·		コンクリート平板の種類及び寸法 ・N 300 ・ (22.8.3) インターロッキングブロック 材質 形状
	・地盤の載苛試験 ※行う ・行わない (4.2.4) ※試験杭の位置、載苛荷重、試験方法、報告書の記載事項は図示による。	12 機械吊上げ用フッ	2	L C		製造所の仕様による (8.4.3) (8.4.2)		表面加工 種類 寸法 クッション材 ※砂 ・空練りモルタル
		13 圧接完了後の検査	検査方法 • 引張試験 ※超音波探傷試験 (5.4.3)(5.4.10)	ハ ネ ル 4 押出成形セメント#			12 砂利敷き	材料 ・A種(通路) ・B種(建物周囲その他) (22.9.2)
5 既製コンクリート杭		(1)コンクリートの種類		_ _押	_ 種類 ※無石綿タイプ	(8.5.2~8.5.4) (表8.5.1~2)	/ 12 3 1722	
地業	※高強度プレストレストコンクリート杭 ・JIS規格品 ・認定品(建築基準法)	6	※ I 類 • II 類 (6. 2. 1) (6. 4. 1) (6. 4. 3) (表6. 2. 1)	成	施工箇所 表面形 ・外 壁 ※フラット/	パネル · 50·60 · A種 ※有り		
	杭径 (mm) 杭長 (m) 及び種別 継手数 セット数 備考	草	普通コンクリートの気乾単位容積質量 • 2. 1t/m³を超え2. 5t/m³以下 • (6. 2. 3)	セーメー	・間仕切り ※フラット/			
		ゴン ク	仕上りの平たんさ種別 ・a種 ・b種 ・c種 (6.2.5)(表6.2.5)	ン ト 坂	・薄物(厚さ50mm未満)	・C種 ・有り		
		2 設計基準強度	普通コンクリート (6.2.2) 設計基準強度 F c (N/mm²) 施 工 箇 所	似 工 事	・パネルの開口及び欠き込み	(8. 5. 5)		
	先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.3) 杭の継手 ・アーク溶接 ・無溶接 (4.3.6)(4.3.7)	F T	※ 21 ±間コンクリート、スラブコンクリート		パネルに開口 短辺 パネ	開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅 ル幅の1/2以下 150mm以下		
	施工法 (4.3.4) (4.3.5)	事	• 24		を設ける場合 長辺 5 パネルを切り 短辺 (パネル	500mm以下 300mm以下 V幅-300mm)以下 300mm以下		
	・特定埋込杭工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法	(3)セメントの種別	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1) (6.13.2) (表6.3.1)			5 O O O mm以下 3 O O mm以下		
	工法 ・ プレホーリング拡入板回の工法 ・ 甲堀拡入板回の工法 H13国交告1113号第6号による支持力算定式でα = 250程度を採用できる工法 杭周固定液 ・ 使用する	したノ 「の性別	※音通ホルトラフトセメフトスは成音セメフトのA 性					
	根入れ深さ・1m以上・()							
	杭の水平方向の位置ずれの精度 ※100mm以下 ・ ()	(4)骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分 ※ A (6.3.1) (6.5.4) フェロニッケルスラグ細骨材等 ※使用しない ・使用(部位:)					
	・セメントミルク工法 試験掘	5)混和材料	※混和剤は、JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) によるA E剤、 (6.3.1) (6.3.2)					
	※行う (ヶ所) 掘削深さ ・1.5m程度 ・()		A E 減水剤又は高性能 A E 減水剤とする。 ・混和材 ※フライアッシュ (JIS A 6201)					
	根入れ深さ ・ 1m以上 ・ () 杭の水平方向の位置ずれの精度 ※100mm以下 ・ ()							
特記							上事務所 登録(三重1-	
			図名	縮尺	図面番号		75 三重県名張市希央台5番 9595-48-6066 FAX 059	05 40 6067
			工事特記仕様書 5	N S	A — 0 5	5	h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	図面提出日 2024/03/22



管理建築士 特 記 工事名 HAKUHO Architech 1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 名張中学校生徒用トイレ等整備工事 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 1級 256630号 ^{縮尺} A2: 1/2500 A3: 1/3536 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 図面番号 A — O 6 配置図 萱室 敦司 白鳳アーキテック 株式会社 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp 図面提出日 2024/03/22



普	8 位		床			巾木			壁			天 井			石綿含有	万 箇所		
室名	FL		材料	撤去		材料	高さ 撤	去	材 料	撤去	. 廻絲	献 材 料	撤去	高さ	床屋	天井	備考	
	改修前 ±0		軽量コンクリート 厚100、保護モルタル 厚60 土間コンクリート 厚120 長尺塩ビシート貼 下地モルタル 厚30	一部	ソフト巾木		60	耐水石膏ボード 厚9. GL工法下地 化粧ケイ酸カルシウム			塩ビ製	LGS下地 型縁 ジプトーン 厚9.5	一部	2900		トイレブース 既設ハンガー	、【撤去・改修】 -戸【撤去】	1階
男女便所 A	改修後 ±0	下地	モルタル下地 金ゴテ押え 厚50 ワイヤーメッシュ φ6×150角、アラミド繊維ネット	復旧				現状のまま				現状のまま		2900		トイレブース ハンガー戸	【新設 · 改修】 【新設】	男女便 i 和便取替ネッ
			長尺塩ビシート貼 厚2.0	復旧	現状のまま 			── 現状のまま 			塩ビ製	<u> </u>	復旧			1,71 = 7	• [+t-+]	
	改修前 -50	rm	軽量コンクリート 厚60~90、アスファルト防水、 均しモルタル 厚20、土間コンクリート 厚150 磁器質モザイクタイル50角貼 下地モルタル					モルタルコテ押え 100角陶器質タイル貼			塩ビ製	LGS下地 回縁 無石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、リシン吹付	- 一部	2750		トイレブース	《【撤去】	1 降
男女便所B	改修後 -50		現況のまま					現状のまま				現状のまま		2750			ス【新設】 450角アルミ枠【新設】	男女便
		仕上	現況のまま					現状のまま			塩ビ製	回縁 無石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、リシン吹付	復旧	2700				
	改修前 ±(ト地	軽量コンクリート 厚150、アスファルト防水、 均しモルタル 厚20、スラブコンクリート 厚150 磁器質モザイクタイル50角貼			\rightarrow		モルタルコテ押え				LGS下地		2500 2440		•		
職員男女便所 ※天井改修のみ		1T.E	下地モルタル 現況のまま					100角陶器質タイル貼 			塩ビ製	回縁 石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、VP塗装・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	—部 					1 職員男
次 人开 战廖切 办	改修後 +60		現況のまま					現状のまま			現状の		復旧	2500 2440		•		
	改修前 ±0	下地	軽量コンクリート 厚100、保護モルタル 厚60 スラブコンクリート 厚120 (鉄筋共) 長尺塩ビシート貼	一部				耐水石膏ボード 厚9. GL工法下地				LGS下地		2900		トイレブース	【 【 改修 】	
男女便所 A	改修前 ±(下地	下地モルタル 厚30 軽量コンクリート 厚160 スラブコンクリート (21N-15S) 厚120 ワイヤーメッシュ	一部 復旧	ソフト巾木 		60	化粧ケイ酸カルシウム 現状のまま	板 厚6 目透し貼		塩ビ製	型縁 ジプトーン 厚9.5現状のまま	一部	2900		トイレブース	【改修】	2- 男女(
		1114	モルタルト地 金コナ押え 厚30	復旧	現状のまま			現状のまま			現状の	まま ジプトーン 厚9.5	復旧					
	改修前 ±(I PIU	軽量コンクリート 厚60~90、アスファルト防水、 均しモルタル 厚20、スラブコンクリート 厚150 (鉄筋共) 磁器質モザイクタイル50角貼	一部				モルタルコテ押え 100角陶器質タイル貼			塩ビ製	LGS下地 厚6 目透し貼、リシン吹付 原 目透し貼、リシン吹付	· — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	2750 2700		トイレブース	ス【撤去・改修】	2-
男女便所B	改修後 ^{±(}	下地	磁器質モザイクタイル50角貼 下地モルタル 軽量コンクリート(18N-15S) 厚60~90、 アスファルト塗膜防水(Y-2工法)、下地モルタル塗 スラブコンクリート(21N-15S)厚150 ワイヤーメッシュ φ6×150角、4周差筋アンカー(D10@400 L450)	復旧				現状のまま				現状のまま		2750 2700		トイレブース	【新設・改修】 450角アルミ枠【新設】	男女位
		仕上	磁器質モザイクタイル50角貼 下地モルタル 厚30 木ゴテ押え	復旧				現状のまま			現状の	まま 無石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、リシン吹付	復旧					
	改修前 ±(軽量コンクリート 厚90、アスファルト防水、 均しモルタル 厚20、スラブコンクリート 厚150 (鉄筋共) 磁器質モザイクタイル50角貼	一部		\rightarrow		モルタルコテ押え 100角陶器質タイル貼			16- 1 × 4:11-	LGS下地		2500 2440		トイレブース	ス【撤去・改修】	
男女便所 C	改修後 ^{±(}	下地	ト地士ルダル 軽量コンクリート (18N-15S) 厚90、 アフファルト涂値時な (Y-2) 下地エルタル涂	復旧							塩ビ製剤	 石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、VP塗装 現状のまま		2500 2440			、【新設・改修】 450角アルミ枠【新設】	2/ 男女低
			磁器質モザイクタイル50角貼 下地モルタル 厚30 木ゴテ押え	復旧				現状のまま			現状の	まま 現状のまま		20				
	改修前 ±0	下地	軽量コンクリート 厚140、アスファルト防水、 均しモルタル 厚20、スラブコンクリート 厚150					モルタルコテ押え				LGS下地		2590		•		
多目的便所			磁器質モザイクタイル50角貼 下地モルタル			<i>∨</i> 		100角陶器質タイル貼			塩ビ製	回縁 石綿ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼、VP塗装 					450 A	2 多目:
	改修後 ±0	下地	現況のまま					現状のまま			TEUL	現状のまま		2590		天井点検口:	450角アルミ枠【新設】	
- 一般間仕り - 一般間仕り	刃壁:高さ4.0 刃壁:高さ4.5	m以下:軽 m以下:軽 m以下:軽 m以下:軽	現況のまま 鉄スタッド W50下地以上 鉄スタッド W90下地以上 鉄スタッド W100下地					現状のまま			5/1/1/07	まま 現状のまま						

特記	工事名 - 	名張中学校生徒用トイレ	ッ 等 整 備 工 事	
	図名	仕 上 表	縮尺 A2: — A3: —	図面番号 A — O 8
			жэ. -	

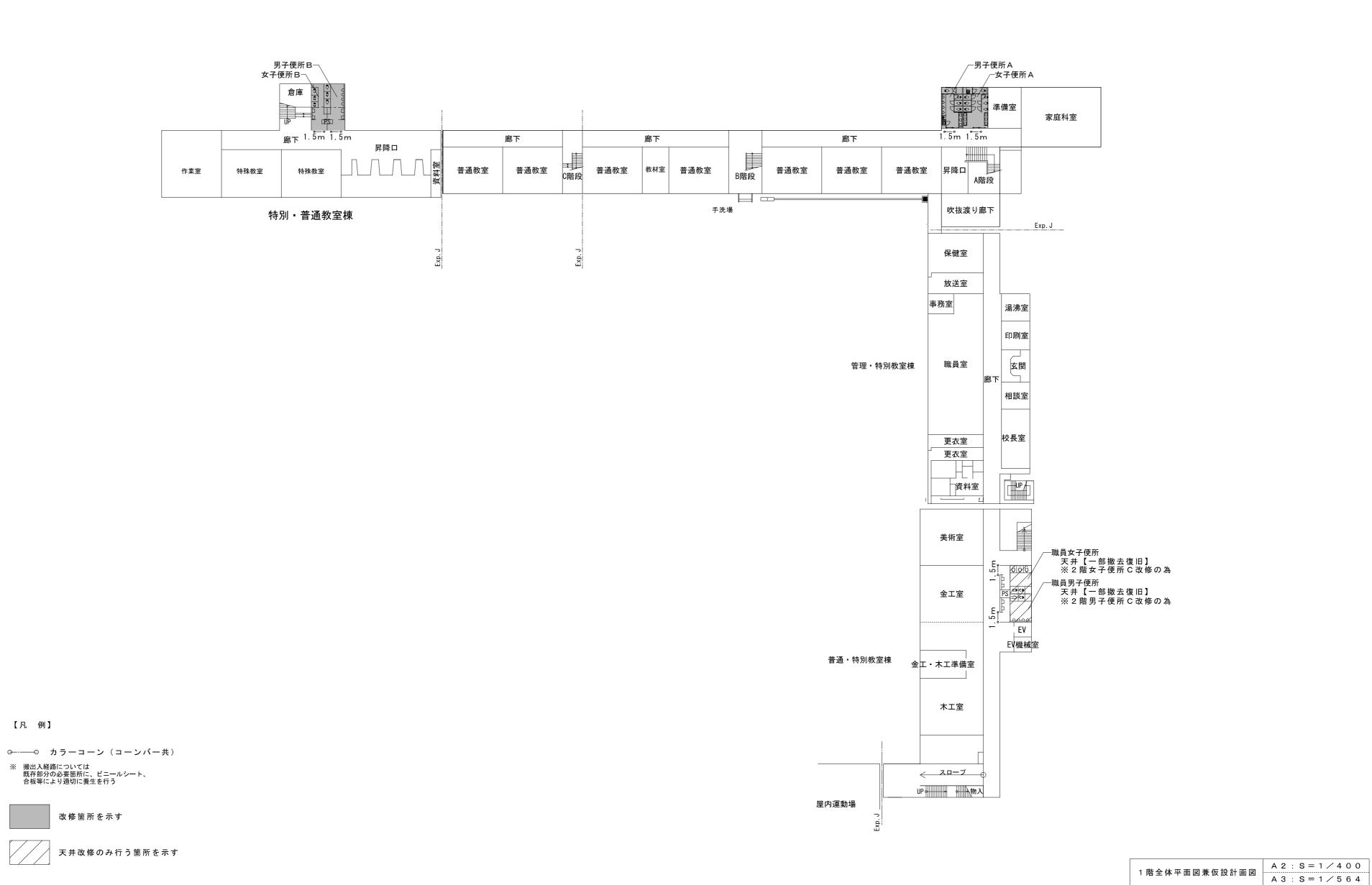


1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	

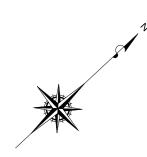
	承 認	管 理 建 築 士	印
	西尾安井	1級 256630号 萱室 敦司	萱室
図面提出日	2024/03/22		



【凡例】

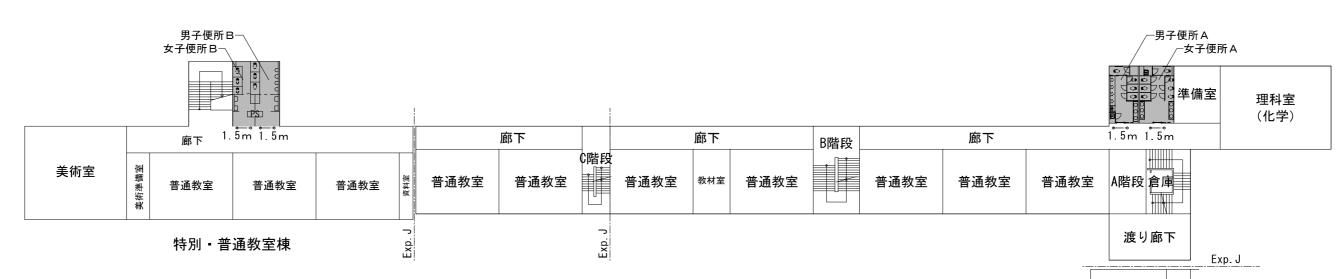


特記	工事名	夕正由学坛开往日	ーーーーーーーーーーーー 月トイレ等整備工事		HAKUHO	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承 認	管理建築士	Ep
		右 旅 中 子 仪 主 促 用	カトイレ寺金舗工事			〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	田田田	1 4 3 5 6 6 3 0	
	図名	1 唯人什么主网美仁凯科索网	縮尺 A2:1/400	図面番号	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	中/尾/サ		
		1 階全体平面図兼仮設計画図	A3: 1/564	A - 0 9	白鳳アーキテック 株式会社	E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	図面提出日 2024/03/22	萱室 敦司	





3 階全体平面図兼仮設計画図 A 2 : S = 1 / 4 0 0 A 3 : S = 1 / 5 6 4



家庭科室 管理・特別教室棟 屋根 パソコン室 屋根 準備室 屋根 図書室 多目的スペース 1 ∕─女子便所 C ∕─男子便所 C 普通・特別教室棟 多目的スペース2 ∕──多目的便所 EV EV 多目的スペース2 屋内運動場

【凡例】

⊙----- カラーコーン (コーンバー共)

※ 搬出入経路については 既存部分の必要箇所に、ビニールシート、 合板等により適切に養生を行う

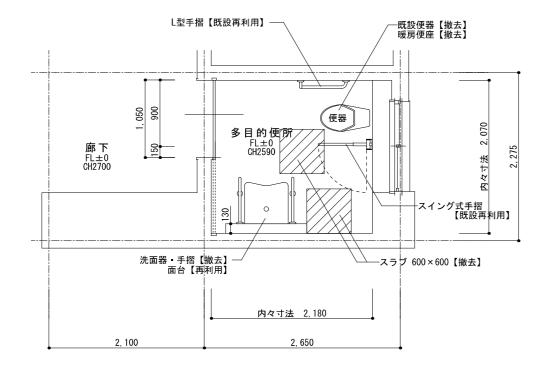
改修箇所を示す

2 階全体平面図兼仮設計画図 A 2 : S = 1 / 4 0 0 A 3 : S = 1 / 5 6 4

特記	工事名	名張中学校生徒用トイ	1. 笙 敕 凚 丁 叓		HAKUHO	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承認	管 理 建 築 士	印
		石版中子校工促用下午	レザ定開工学			〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	田田田安		_
	図名	0. 0. 唯人比亚王國美仁凯科雷國	縮尺 42・1 / 400	図面番号	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	中尾,井		
		2 · 3 階全体平面図兼仮設計画図	A3 : 1/564	A-10	白鳳アーキテック 株式会社	E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	図面提出日 2024/03/22	一 萱室 敦司	

普通・特別教室棟A 2 : S = 1 / 5 02階多目的便所現況A 3 : S = 1 / 7 1

普通・特別教室棟A 2 : S = 1 / 5 02階多目的便所 改修後A 3 : S = 1 / 7 1



多目的便所平面詳細図

S = 1 / 50

既設床撤去(男女便所共通)
磁器質モザイクタイル50角
目地カッター切
軽量コンクリート 厚90

軽量コンクリート 厚90 アスファルト防水 均しモルタル 厚20 スラブコンクリート 厚150 (鉄筋共) はつり

/// 床撤去範囲を示す

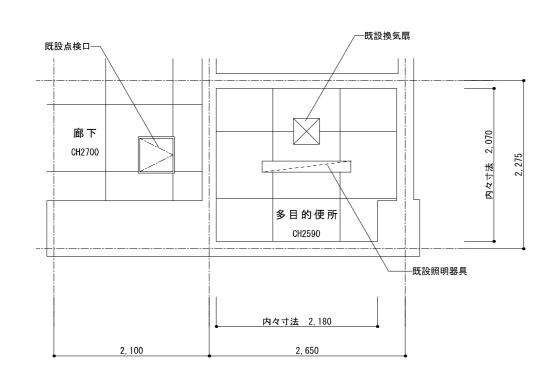
多目的便所(設備工事)洋風便器(便座共) 撤去洗面器・手摺 撤去化粧鏡 撤去紙巻器 撤去既設L型手摺 既設再利用既設スイング式手摺 既設再利用

床復旧(男女便所共通)
磁器質モザイクタイル50角
タイル下地モルタル 厚30 木ゴテ押え
軽量コンクリート(18N-15S) 厚90
アスファルト塗膜防水(Y-2工法)
下地モルタル塗
コンクリート(21N-15S) 厚150
4周差筋アンカー(D10@400 L450)
ワイヤーメッシュ φ6×150角

床復旧範囲を示す

多目的便所(設備工事)洋風便器(暖房便座付)新設手洗器新設化粧鏡新設オストメイト新設ベビーキープ新設2連紙巻器新設L型手摺既設再利用跳ね上げ手摺既設再利用

多目的便所平面詳細図 S=1/50



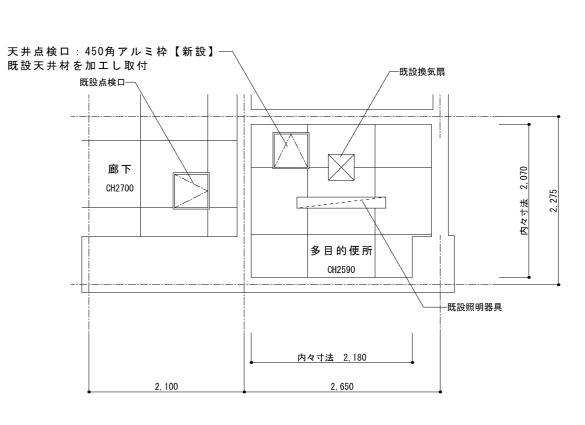
多目的便所

天井:ケイ酸カルシウム板 厚6
目透し貼、VP塗装
【現況のまま】
廻り縁:塩ビ製【現況のまま】

既設照明器具【現況のまま】

天井点検口【新設】

多目的便所天井伏図 S = 1 / 5 0

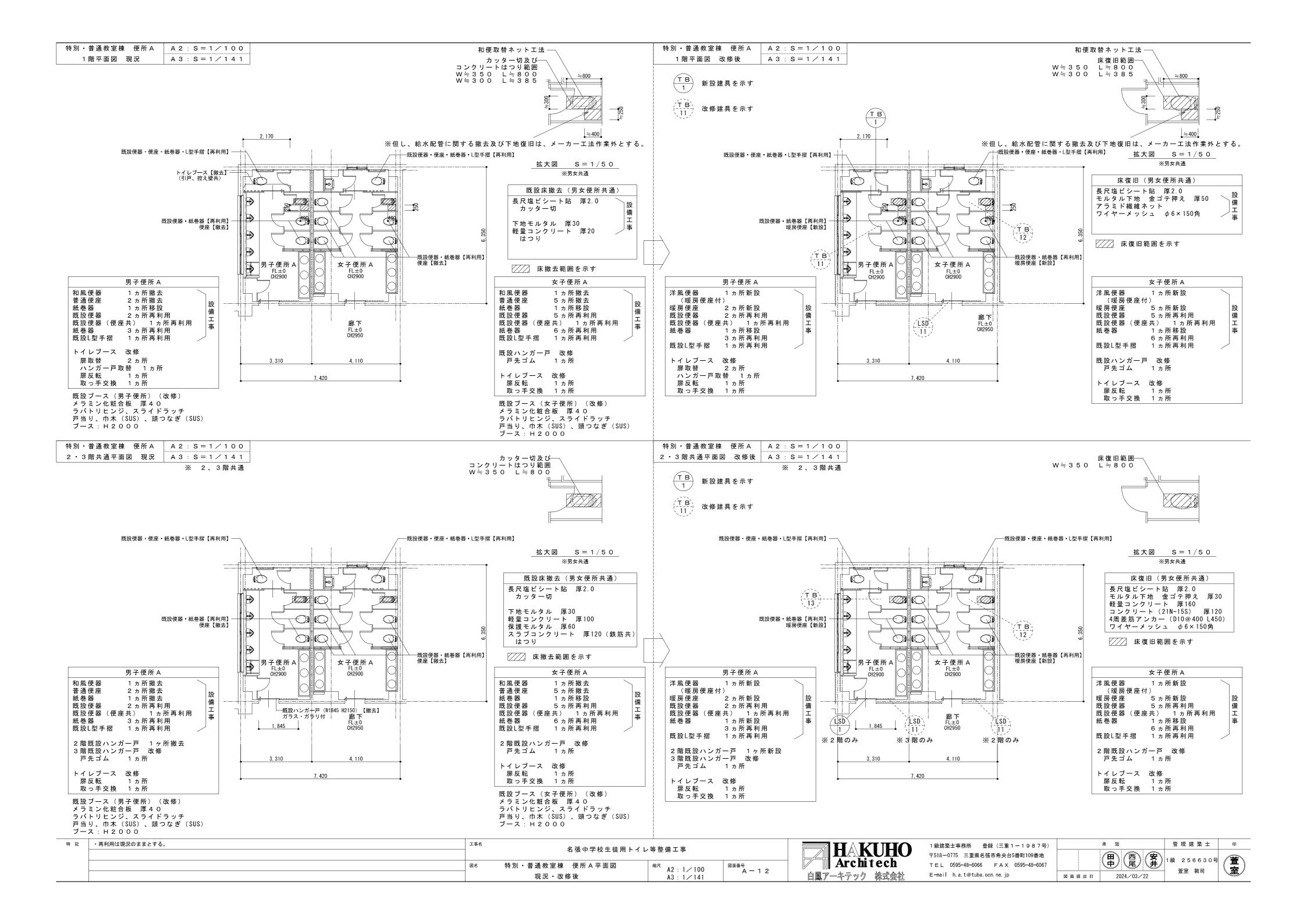


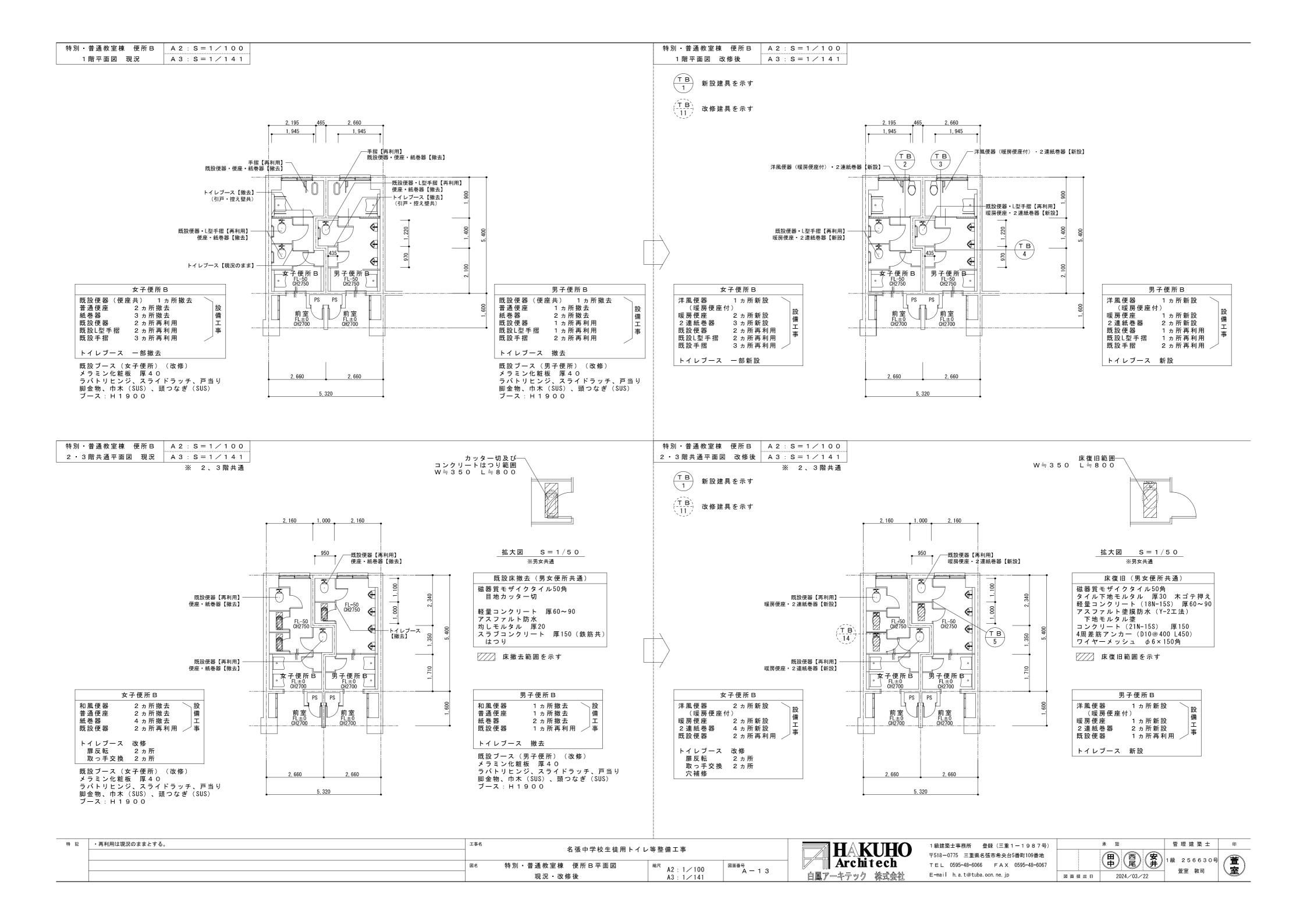
多目的便所天井伏図 S = 1 / 5 0

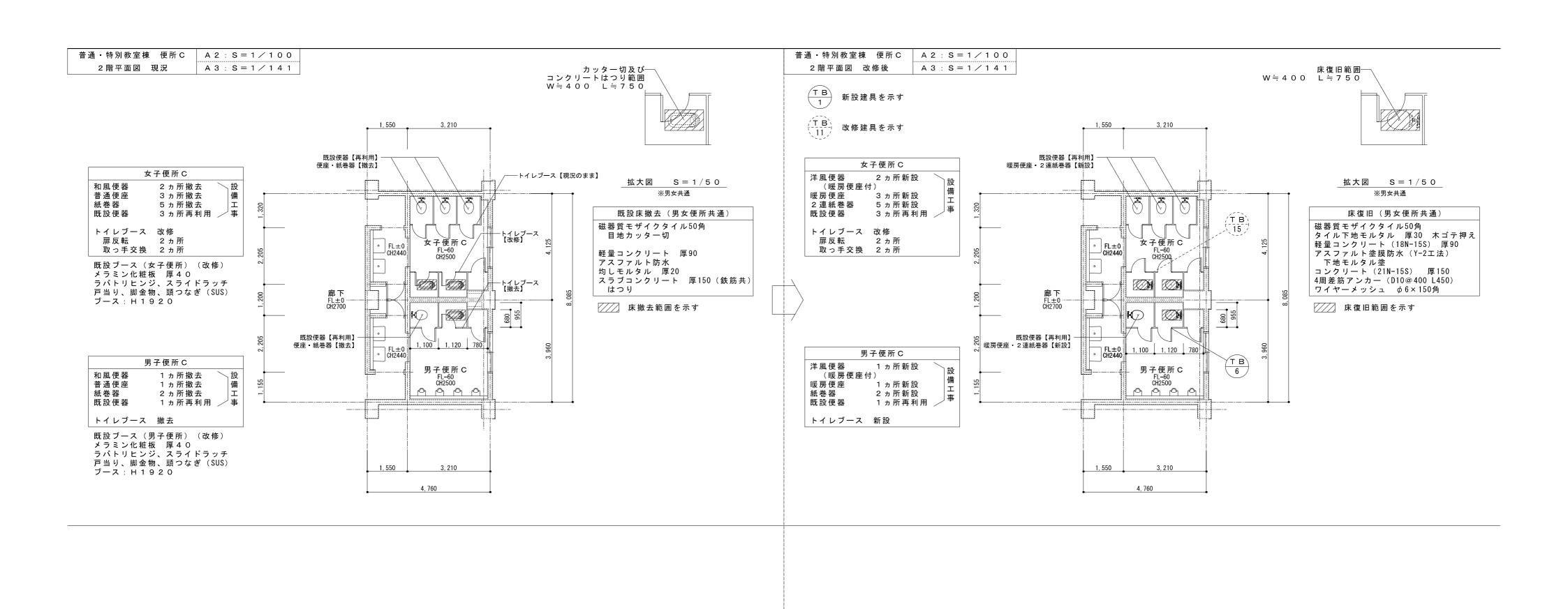
特記	・再利用は現況のままとする。	^{工事名} 名張中学校生徒用卜 1	レ等整備工事	
		図名 普通・特別教室棟 2階多目的便所詳細図 現況・改修後	^{縮尺} A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A - 1 1

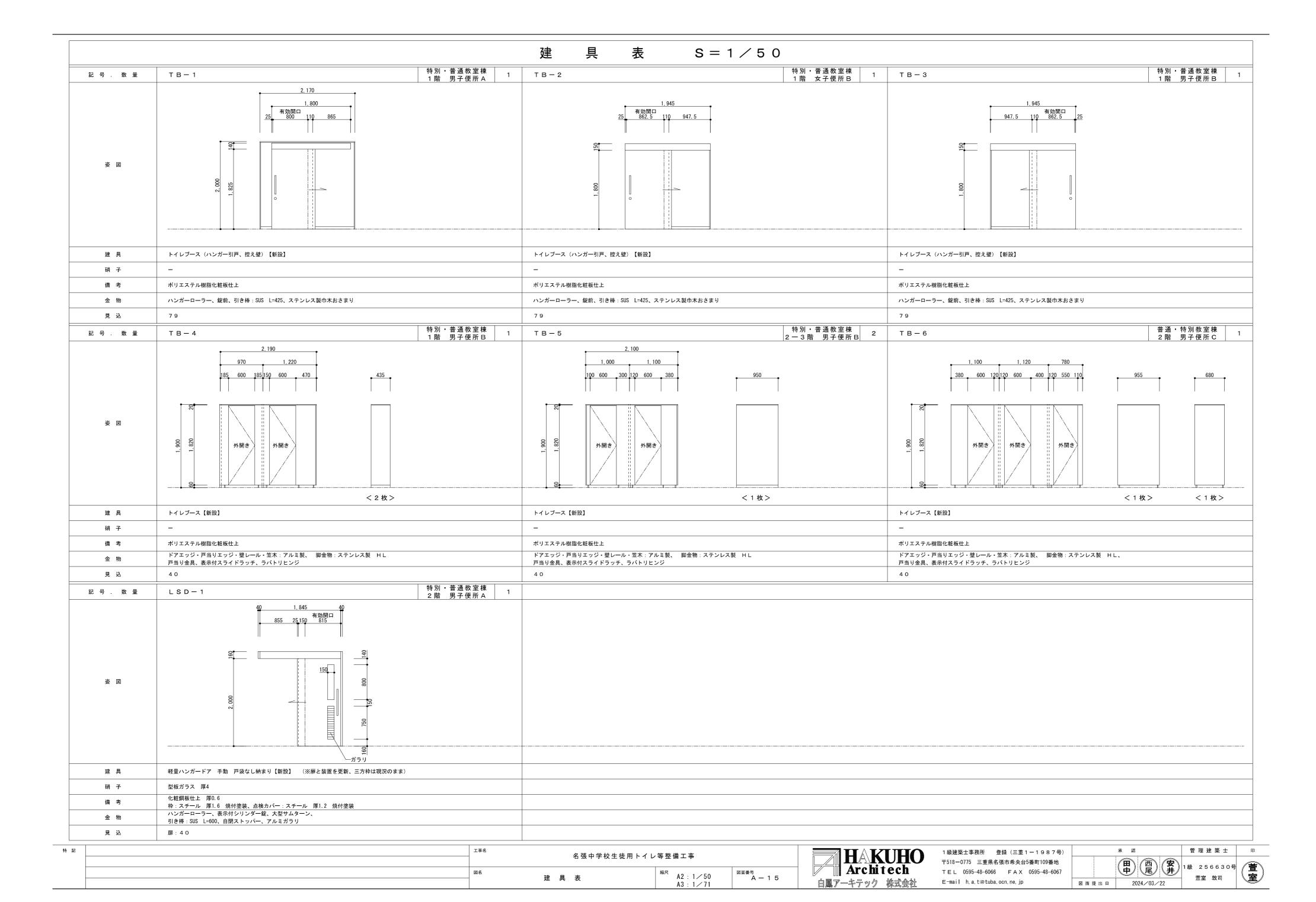


1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	

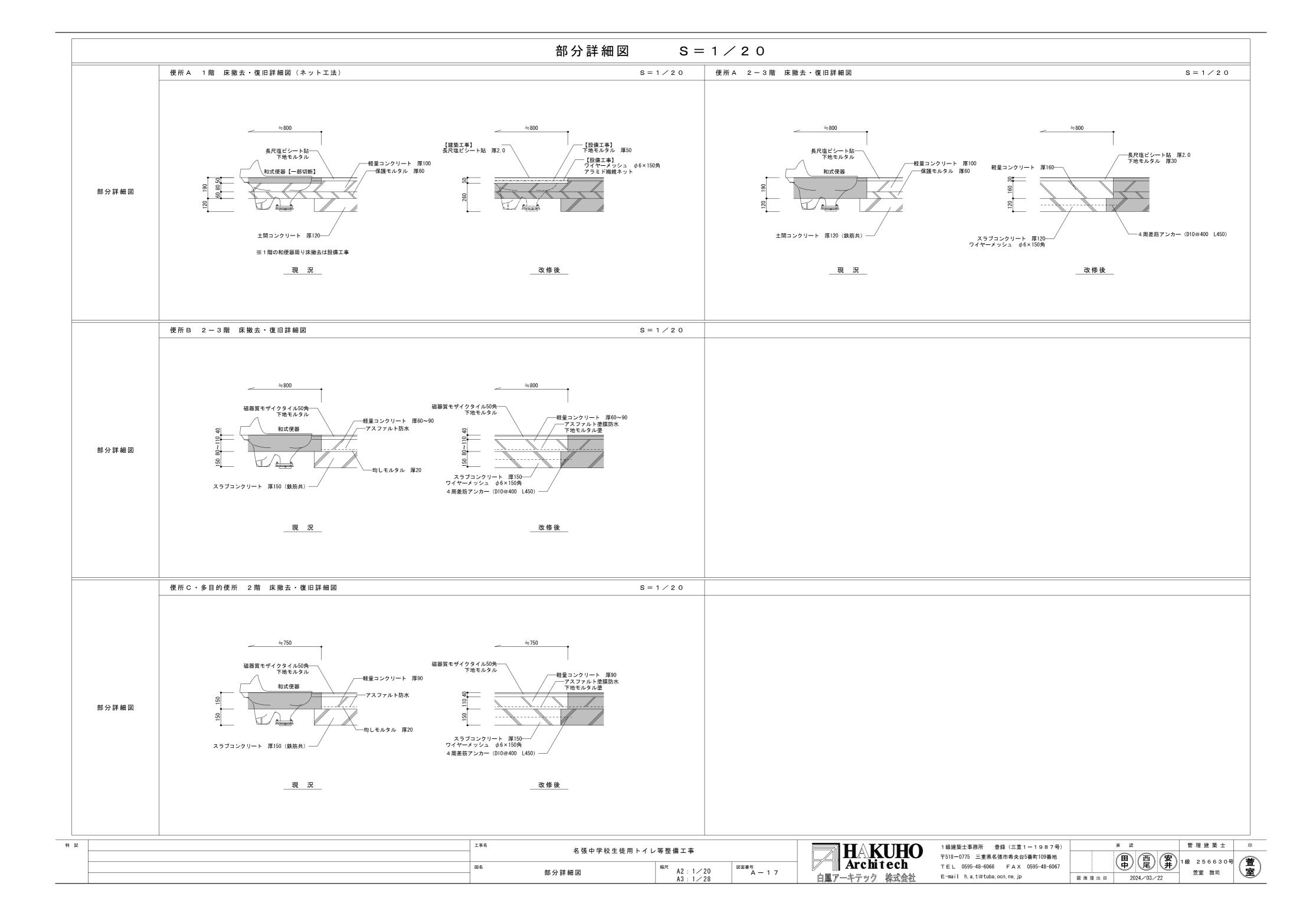


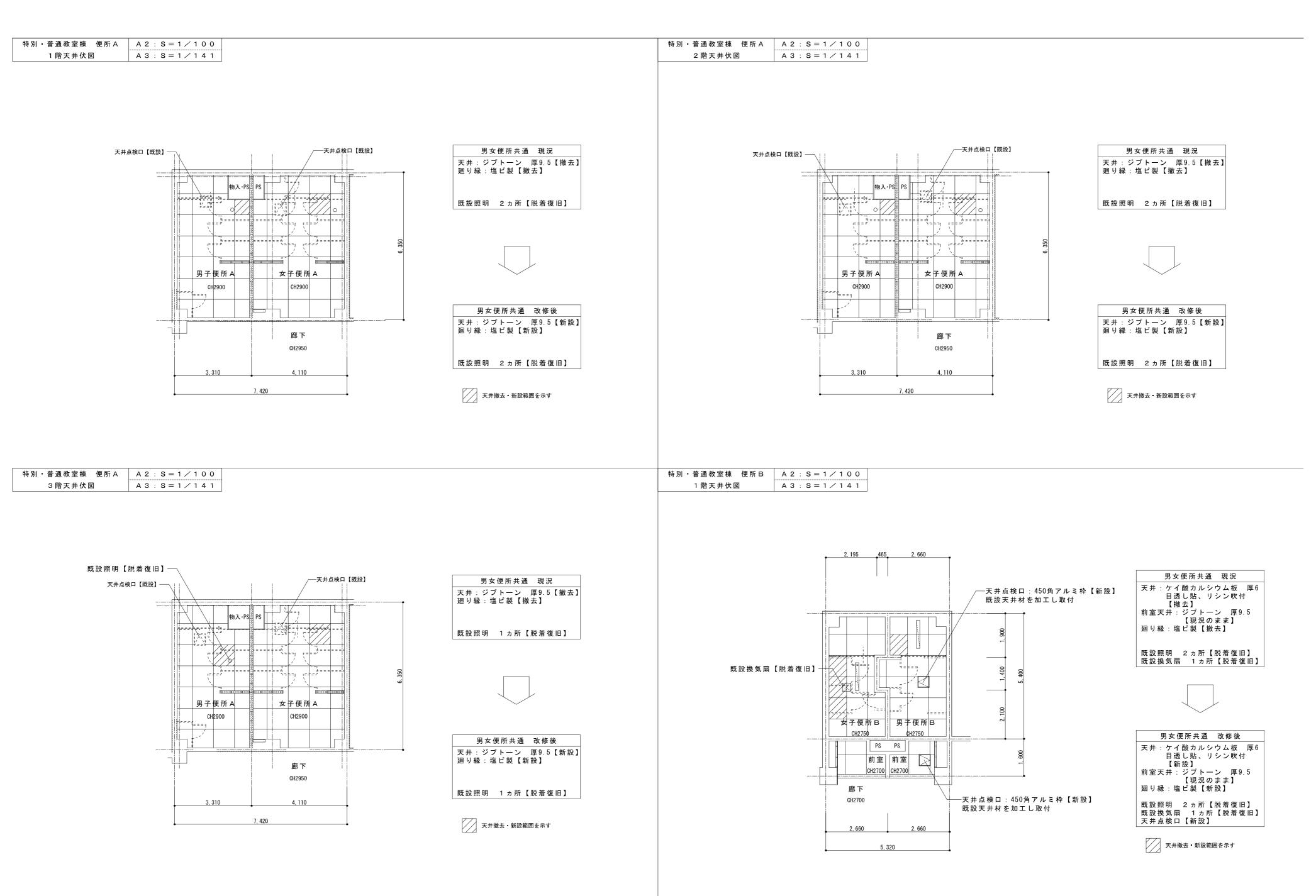












特記	工事名	名張中学校生徒用トイレ等整備工事			HAKUHO	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	承 製 田 西 安	管理建築士 印
	図名	便或工业件网(1)	縮尺 A2:1∕100	図面番号	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	中人尾人	章 教司 章 室
		便 所 天 井 伏 図 (1)	A3 : 1/141	A - 18	自鳳アーキテック 榛式会社	E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	図面提出日 2024/03/22	旦王 秋미

